



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635  
新潟県立新潟高等学校内  
TEL 025-266-5268  
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所  
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18  
TEL 025-285-7161  
FAX 025-282-1776

# 新年のご挨拶

青山同窓会会長

長谷川

義明 (61回)

53卒



新年おめでとう御座います。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

月日の経つのは実に早いもので、同窓の皆様のご協力を頂いて、挙行した母校120周年のお祝い行事ももう一昨年のこととなりました。式典、記念講演、記念演奏、教室の学習環境整備事業として120年史編纂と同窓会名簿の発行などの諸事業を実施させていただきました。

欲しいものと期待いたして居ります。

同窓生の中から83回卒の木下康司氏が財務省事務次官という官界のトップに就任される嬉しいニュースもありました。74回卒業の佐藤信秋氏(現参議院議員)の国土交通省事務次官就任以来の快挙であり、財務省では初めてのことであります。国債残高も膨大で財政状況厳しい中での就任でまことにご苦労の多さがしのべれますが大いに活躍いただきたいと思ひます。

昨年現役の生徒達の活躍にも目覚しいものがありました。難関大学と言われる大学への多数の合格、中でも全国の医学部への合格者数は全国公立高校の中でも2番目の成績だったとのこと。文化スポーツの分野でも全国大会での陸上女子800メートルとフエシシング女子部門での優勝、全国高校写真展第2席など目を見張るものがありました。今後とも文武両道を目指す青山の伝統を承継いで

とながら、漁港の岸壁の沈下や水産加工施設なども破壊されており、復興には大変な時間と費用がかかることが理解できません。一方の齋藤正行氏は新潟に市民の力で自分達の見たい映画を上映する運動を展開され、シネウインドという映画館を営んで28年という永い期間活動を継続してこられました。新潟の映画文化を支えてこられた実績を背景に貴重なお話をいただきました。かつての新潟の懐かしい映画館の数々の写真も披露され、映画界の変化も実感いたしました。

実に多くの分野で青山同窓生が活躍しておられると青山同窓生の一人として大変嬉しく思います。



## 青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 長谷川義明

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと存じます。開催要領は下記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたいと思います。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：TEL / FAX 025 - 266 - 5268  
青山同窓会電子メールアドレス niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

### 記

日時：平成 26 年 2 月 21 日 (金)  
受付 午後 6 時  
《新年会は生徒の吹奏楽の演奏はありません》  
開宴 午後 6 時 30 分  
会場：ホテルイタリア軒 TEL 025 - 224 - 5111  
会費：6,000 円  
申し込み締め切り：平成 26 年 2 月 17 日 (月)

※平成 26 年 2 月 10 日 (月) ~ 12 日 (水) は推薦入試の為、事務局はお休みします。

# 新年のご挨拶

参議院議員

佐藤のぶあき (74回) 66卒



湧はこんな良いところがあるな」と気がつく機会が増えてきました。いくつかここに上げて、皆様と共に更に新潟の良いところを見つけ出し、つくり出してきたいものです。

青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。今年こそ明るい希望の見える年となるよう祈りながら、年頭の所感、ご挨拶を申し上げます。

新潟地震で避難生活を経験したのは、今から50年前、高校2年生の時でした。それ以来、災害に強いふる里をつくろう、ふる里をもっと安全に、もっと住みやすく、と国土建設の仕事についてから、40年を越えました。

この間、建設省、国土交通省を経て、お陰様で、参議院の全国比例区で2期目に入り、一貫して国土、ふる里のインフラづくりに汗をかいてきました。新潟をベースとした全国の議員として、全国を訪ね、そのまちづくりや災害からの復旧、復興を支援し、国政に反映させています。全国を回ると、「ああ、新

潟はこんな良いところがあるな」と気がつく機会が増えてきました。いくつかここに上げて、皆様と共に更に新潟の良いところを見つけ出し、つくり出してきたいものです。

# 新春ごあいさつ

衆議院議員

鷲尾 英一郎 (103回) 95卒



今年こそ日本の雇用、経済が再生し、デフレ脱却するように、そしてふる里新潟が日本海側の拠点として大きく飛躍する幸多き年となるよう心から祈念致します。

新年あけましておめでとうございます。

青山同窓会のみなさまにおかれましては、日々益々ご清祥の段、心からお慶び申し上げます。

さて、政権交代を経て一年が経過し、安倍内閣の支持率は近年になく持続しており、一応の政治的安定を見ております。

東京都オリピックの開催決定や、円安・株高の傾向によって経済の先行きに曙光を感じつつも、足元の高齢化・少子化・財政難は未だに重要な課題のままであります。また、税と社会保障の一体改革のプログラムにより、

議においても国民生活の向上を主眼として取り組んでいます。政治が足元しか見えないとき、それは中長期にわたり低迷を繰り返す結果となる心配もあると思われまふ。ただ、なかならず新潟にも影響が必至である農業政策は、大転換が見込まれ、逆に今まで、静かなる構造改革が進行している中で、急激なる変革案は、現場での混乱はもちろん、国益を守ることにつながるのか疑問をもっており、これにも対処してまいります。

政治リーダーの役割は今こそ高まっていると思います。混沌の時代にあつては本物が必要です。政治家の仕事は、詰まるところ、国家観・歴史観・教養・胆力・人脈を備えた上で、どんな状況においても冷静沈着に国家としての決断を行い続けることだと考えております。

国債残高、原発政策、社会保障制度、領土問題・・・枚挙に暇がありません。構造を変えながら漸進的な改革を行う為には、一定期間が必要です。

一時の感情や空気で政治を選んでしまつては、政治は漂流してしまいます。政治や政党を育てる為により多くの本物の政治家を議会に出していただくとともに、一定期間の時間も必要と考えております。一般企業同士

が競争により切磋琢磨しあうように、政党もお互いに勢力が拮抗する中で競争によつて切磋琢磨し国家国民に寄与することが極めて重要と考えます。

混沌の時代ですが、丈夫健児として恥ずかしくないよう、精一杯努力して参りたいと存じます。

平成26年が青山同窓会のみなさま並びに新潟高校に関係するみなさまにとつて佳き年になりますよう衷心より祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

衆議院議員

石崎 とおる (110回) 02卒



青山同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。国会議員となり、1年が過ぎました。こうして新しい年を希望に満ちて迎えられるのも、皆様のご支援とご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

この1年間、私も衆議院経済産業委員の立場から産業の競争力の強化や、成長戦略の策定、資源エネルギー戦略などの仕事に尽力いたしております。新潟市の国家戦略特区提案につきまして、数か月をかけて関係省庁、新潟市、新潟経済同友会と協議を重ねた結果、首相官邸にて菅官房長官に国家戦略特区の要望にこぎつけることができました。年明けには、地域選定が行われる運びですが、新潟も少なくとも構造改革特区として認

山同窓生として頑張らんきゃならんよ！」と励ましの言葉を数多く頂戴し心からの励みとなっています。

めてもらい、新潟が全国の成長を引っ張って行けるような地域にしていきたいと考えております。

また、私の古巣でございます財務省の木下康司事務次官は青山OBであり、様々な新潟の陳情を気軽にお願いできる状況にあり、新潟にとって「今でしょ！」という非常にチャンスに恵まれた状況にあります。引き続き、東京青山同窓会の皆様とも一致団結しながら、国政活動に取り組みしていきたいと考えております。

地元活動では、支援者とのふれあいを重視し、語らいの場「潟RIBA」を定期的に開催しています。「代議士と気軽に語ろう」をコンセプトとして、幅広い世代の方々や語らう機会を積極的につくり、新潟高校の関係を皆様含め多くの方々とお会いし、地域の色々な課題、国政について多くの意見を頂戴しました。新潟各地の多くのお祭りや各種イベントに積極的に参加させていただいておりますが、様々な場所での新潟高校の関係の皆様にお会いし、「若手青

# 2014年は節目の年

## お約束の仕上げに全力

新潟市長 篠田 昭 (75回) 67卒



青山の皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

新潟市が大合併して今年で10年になります。これまでのまちづくりの柱となってきた合併建設計画も新年度が仕上げの年となります。今後のまちづくりの基本方針となる新しい総合計画を今年中に組み立て、途切れることなく、まちづくりを進めてまいります。

私にとっても今年11月で3期目の任期が終了します。これまで、市民の皆さんにお約束したマニフェストや「新潟の明日を拓く10大プロジェクト」を良い形で仕上げるのが私の責務となりますので、任期いっぱい全力で取り組みます。10大プロジェクトのうち主な

ものを紹介します。第1が「防災首都・救援拠点」の構築です。3年前の3・11震災で新潟が日本最大級の救援センターとして機能したことを踏まえ、国の国土強靱化政策に呼応した取り組みです。日本海国土軸の整備も進み出しました。今後は列島横断軸を強化すると共に、国家戦略特区に地域指定されるよう全力を尽くします。

「食と花の政令市」の都市像も明確化します。鳥屋野潟南部に整備中の「いくとびあ食花」はお陰様で早々と100万人を超す方からご利用いただきました。6月には民活ゾーンに直売所やこだわりの食材を使ったレストランなどができ、グラウンド・オーブンとなります。同じ頃、南区には宿泊型の農業体験学習施設「アグリパーク」が整備されます。

これを機に、すべての小学生に食育と農業体験を味わってもらう新潟発の日本で初めての取り組みが新年度から始まります。新潟の食のレベルを国際標準で評価いただくユネスコ創造都市ネットワークの登録も今年が

正念場となります。日本で初めて、食文化の分野で登録いただくよう準備を進めており、最終段階を迎えています。かなりの自信を持って、結果を待ちたいと思います。

自治制度も進化させます。行政区の裁量権を大きくし、公募区長を登用します。教育委員を6人から9人に増員し、担当区制を全国で初めて導入します。今年も皆さんからご助言・ご指導をいただきながら、新潟のまちづくりを前進させていきますので、よろしくお願いたします。



# 同窓会副会長に就任して

砂田 徹也 (81回) 73卒



1 皆さん、こんにちは。昨年7月の同窓会総会において、同窓会副会長に選任されました。長谷川義明会長を補佐しながら尽力してまいりたいと思います。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2 私は、昭和29年10月生まれ、59歳になり、今年は還暦を迎えます。

昭和45年3月、15歳の私は新潟高校の入学試験を受けていました。休み時間にふとグラウンドをながめて見ると、激しい雨の中、ラグビー部が練習していました。こんな日にも練習をするのか、すごいもんだなあと感じしたものでした。

それが縁だったのでしょう。入試の合格発表の翌日から野球部に入った私でしたが、入学式の日には退部し、ラグビー部の門をたたいていました。ルールも知らずにとび込んだものですから、ランニングパスに入っても前でパスを受けようとする始末。スローフォワードですよ。早速、先輩の指導を受け、前にパスしてはいけないことを知りました。

3 ラグビーは、何とか3年間続け、キャプテンも務めました。「楽苦備」と字を当てますが、本当に楽あれば苦あり、苦あれば楽ありの部活でした。一番の思い出は、左足キックのブレイクスルーでした。スタンドオフやセンターをやっていましたので、キックが飛ばないといいけません。右足は何とかいけるのですが、左足がなかなか当たらない。夏合宿の全体練習後、サッカーゴールのネットめがけて蹴り続けるのですが、芯を外れる。しかし、合宿の最終日、それはやってきました。左足でボールの芯をとらえ、力感あふれるボールが飛んだのです。それからというもの、左



足の方が距離が出るようになりました。楽苦備とブレイクスルー、人生に通じるものがありま

すね。  
4 ラグビーボールは楕円球です。どっちへ転がるか、わかりません。ゴールへ蹴ったボールが自分の懐に入って行くこともあれば、相手の手の内に入ることもあります。でも、追いかけていかなくては入るものも入りません。諦めずに信じて追いかける、それが肝心ですよ。

同窓会の会務とは、あまり関係のない話になってしまいました。キャプテン長谷川会長をフォローして、頑張りたいと思います。どうぞよろしく。

# 退任のご挨拶

風間 士郎 (64回) 56卒



平成25年度青山同窓会総会をもって8年間の副会長を退任致しました。在任期間中、地元新潟はもとより東京、関西、東北の同窓の方々とも交流を持つことができました。先輩や後輩とも親しく盃を交わし、校歌や応援歌を声の限りに歌った感動は、いつまでも忘れ難いものです。在任期間中の特に印象に残っていることは以下の通りです。

1 平成24年11月20日挙行された記念式典、祝賀会

私は、総務委員長として組織全体の企画運営を担当しました。全ての行事を無事盛大に終えることができましたときは青山同窓生はもとより、学校教職員の方々、保護者の方々の新潟高校に対する思い入れの深さ、暖かき、そして愛情を感じました。これが121

2 青山学術文化講演会

長谷川義明会長就任後、この行事が始まり次回で11回目を迎えます。新潟高校OB、OGは、全国でいや世界的にも各分野で活躍されている方が多くおられます。

3 淡く消えた春の夢

平成22年春の甲子園選抜野球大会出場が実現しそうな状況でした。前年の北信越地区野球で好成績を残し、甲子園出場がほぼ間違いないとマスコミに報道されていましたし、また、

年の歴史、伝統の重みであることを実感しました。同窓会名簿の作成にも係りましたが、個人情報についての個人の考えも時代と共に変化するものだと認識しました。

現に同窓会から発表の日の何時までに学校に集合するよう連絡がありました。しかるに結果は選に漏れ、淡い夢と消えました。これからは野球部に奮起してもらい推薦枠ではなく、実力で春夏の甲子園出場を勝ち取ることを期待しましょう。今後の新潟高校と青山同窓会の発展を祈念します。



同窓会総会報告

平成25年度青山同窓会総会

現職員 堀越 康裕 (97回) 89卒

去る平成25年7月12日(金)、ホテルオークラ新潟を会場に450余名の同窓生の方々が集い、「平成25年度青山同窓会総会・懇親会」が開催されました。総会に先立ち、恒例となった吹奏楽部の生徒によるミニコンサートが催され、後輩たちの繊細かつ力感あふれる音色に多くの参加者の方々が聞き入っておられました。特に一昨年百二十周年記念式典においてパイプオルガンで演奏された「百里流れて」新旧2つの校歌と8つの応援歌によるクラージュ風幻想曲「(後藤)丹上越教育大学大学院教授(79回)作曲の吹奏楽バージョンが初披露され、懐かしいメロディーの数々にとりわけ大きな拍手が送られていました。総会は、行田充さん(84回)の司会のもと、長谷川義明同窓会長(61回)、西村正徳東京青山同窓会副会長(72回)、渡辺操関西青山同窓会副会長(66回)、倉茂周典東北青山同窓会顧問(61回)の挨拶をいただいた後、議事が進められました。創立百二十周年にあたっての同窓生

からの協力に対する謝辞に加え、「21世紀型学習環境の整備」が進められたことなど、すべての事業が滞りなく進められたことが、長谷川会長より報告されました。また、今年度は役員改選の年にあたりましたが、長谷川会長、敦井栄一副会長(69回)、山内春夫副会長(76回)の留任が承認され、風間士郎副会長(64回)の退任に伴い、新副会長に砂田徹也さん(81回)が選出されました。続く懇親会は、渡邊毅実行委員長(85回)の開会宣言の後、村山朋彦さん(95回)の司会のもとで進みました。長谷川会長、来賓の石崎徹衆議院議員(110回)の挨拶、佐藤信秋参議院議員(74回)からのメッセージ披露、藤田実さん(68回)の指揮による「旧校歌」「新校歌」の斉唱の後、風間副会長のご発声



で乾杯、賑やかな歓談が始まりました。

歓談の間には、最多出席回の表彰、お楽しみ抽選会などが実施され、回を超えた交流に一層の花を添えました。会の締めには元応援団長行田充さん、渡辺政次さん(86回)を筆頭に歴代の応援団OBが登壇して「ますらお」斉唱、さらに山内副会長のご発声により「万歳三唱」が出席された方々全員で声高らかに行われ、大盛会となった同窓会総会・懇親会の幕が下りました。

平成25年度東京青山同窓会総会報告

平成25年11月15日(金) 於ANAインターコンチネンタルホテル東京

当番幹事 高橋 正 (75回) 67卒  
事務局 日下部 朋子 (82回) 74卒

恒例の東京青山同窓会総会は、新潟から長谷川義明会長(61回)、砂田徹也副会長(81回)、富山修一幹事長(75回)、草間俊之学校長、櫻井麻利子先生(94回・校内幹事)の5名をお迎えして賑やかに開催されました。第一部の進行は富山聡仁さん(107回・富山幹事長・ご子息)で進められ、総会議事、長谷川会長の祝辞、新任の砂田副会長のご挨拶、草間学校長からは、最近の学内の様子やインターハイのチャンピオンが誕生したニュースなどのご報告がありました。第二部の司会を有蘭順子さん(75回)にバトンタッチし、今回参加者中、最高学年(59回)牛木素吉郎さんの乾杯で幕開けです。途中、古川恒一さん(76回)の著書紹介、石崎徹衆議院議員(110回)の飛び入りスピーチと続き、いよいよ当番幹事75回の企画、全員参加で「大ジャケン大会」の始まりです。

(事務局記)

「はい皆さん!隣の人とじゃんけんしまーす、最初はグー...」

盤、敗者復活戦という救済策で大いに盛り上がり、活況のうちに終了しました。上品な司会をしてくれた有蘭さん、時間内でピタリと納めた進行役の曾我君はじめお手伝いの皆さん、快く景品を提供してくれた75回有志の方々に厚く御礼を申し上げます。最後にホテル側担当の田邊様には、宅配された荷物の仕分けなど御面倒をおかけしました事に対し感謝申し上げます。(高橋記)

館美術館入場券、ワイン、篠田市長の著作と徐々にグレードが上がっていき、最後に勝ち残った16名は壇上に登り、何が貰えるか興味津津である。当日、84回渡邊さんからのこがね餅セットも加え、ワイン+美術館入場券、高級玄関マット+ガーデニングセット、版画、森副知事からの中国工芸品など豪華景品を狙う激戦を経て、1番は和田郁さん(121回)、選んだものが版画、2番は会田俊貴君(118回)となり、中国工芸(黒陶)という何とも渋いチョイス。終



# 東北青山同窓会第3回総会を開催

東北青山同窓会 神田 貴生 (103回) 95卒

平成23年10月に発足した東北青山同窓会は、東北楽天ゴールデンイーグルス日本一の興奮冷めやらぬ平成25年11月9日(土)、仙台市で第3回総会を開催しました。

当日は、東北6県在住の同窓生約30名のほか、本部から山内副会長、富山幹事長、本間校内幹事にもお越しいただきました。総会では、濱田敏克会長(71回)が議長を務め、平成24会計年度収支決算報告の後、平成25会計年度収支予算と会則改正を審議し、満場一致で承認されました。

総会後は、初の試みとして高橋園美さん(95回)より「ソーシャルメディアの活用」について講演いただきました。講師の大役を務めた「そのみん」は、楽天イーグルスの本拠地、通称「Kスタ宮城」のオーロラビジョンのシステムを制作した方。東北青山における「フェイスブック」の更なる活用を呼びかけました。東北青山のメンバーとのフェイスブックによる交流エピソードも交えた内容に一同は引き込まれ、最後は出席者全員の手拍子で講演は終了。

懇親パーティーでは、来賓の山内副会長から、創立120周年記念事業への協力に対する御礼等の挨拶を、本間校内幹事からは、最近の在校生の活躍ぶりなど、学校の近況を紹介いただきました。難関大学にも多数進学する現役の活躍ぶりを喜び、遂に我が母校に女子制服(正しくは推奨服)が導入されたという話には会場が一時騒然となりました。出席者によるスピーチでは、化学、医療、IT、エネルギーなどさまざまな分野の話に華が咲いて想定の意見交換も行われ、懇親の場は和やかな学術会議ながらの雰囲気となりました。最後はお待ちかねの応援歌・

校歌の大合唱。小池修治団長(85回・現役当時は応援団副団長)を筆頭に、出席者全員があらん限りの声を張り上げ、パーティーは盛会裏に終了。来年も楽天イーグルスの二連覇と合わせて開催できることを祈念するとともに、若手の同窓生も多数参加されることを願っています。



## ★青山同窓会総会のお知らせ★ — 予定 —



日時：平成 26 年 7 月 11 日 (金)  
午後 6 時～ 総会  
午後 6 時 30 分～ 懇親会  
会場：ANAクラウンプラザホテル新潟



## ★関西青山同窓会総会のお知らせ★

日時：平成 26 年 2 月 22 日 (土) 午後 7 時から (受付開始午後 6 時 30 分から)  
会場：ウェスティンホテル大阪  
問い合わせ先：松本登記測量事務所 電話 072-286-0012 FAX 072-286-0021  
E-mail kansai\_aoyama@yahoo.co.jp

## ★青山同窓会通信制恩師を囲む会のお知らせ★ — 予定 —

日時：平成 26 年 6 月 28 日 (土) 午後 2 時～  
会場：新潟東映ホテル 新潟市中央区弁天 2-1-6 TEL 025-244-7101  
会費：6,000 円  
問い合わせ先：笹川 090-6272-7939 岡田 080-5450-5493

平成 24 年度青山同窓会収支決算書  
(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 前期繰越金, I 収入の部 (入会金収入, 会費収入, etc.), II 支出の部 (総会費, 新年会費, etc.), and 合 計.

平成 25 年 4 月 5 日 上記の通り相違ないことを確認します。 監事 江口良助 渡辺国夫

平成 25 年度青山同窓会会務計画

平成 25 年 7 月 12 日 (金) 総会  
平成 25 年 11 月 16 日 (土) 青山学術文化講演会  
平成 26 年 2 月 21 日 (金) 新年会

平成 25 年度青山同窓会収支予算書  
(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include I 収入の部, II 支出の部, and 合 計.

青山同窓会役員名簿

Table listing officers: 監事 (渡辺国夫, 江口良助), 副幹事長 (櫻井麻利子, 本間幹事), 幹事長 (渡谷聡, 渡邊毅, 行田充, 吉田徳治, 小林しほり, 栗原道平, 白井行雄, 小林敬直, 北村幸輝, 小島富美子), 副幹事長 (河崎順昭, 富山修一), 副会長 (砂田徹也, 山内春夫), 会長 (敦井栄一), 役員 (長谷川義明). Includes terms in parentheses.

★青山同窓会の書籍等のご案内★

創立百二十周年記念事業の一環として作成しました書籍等を、ご希望の同窓の皆様にお分けいたしております。また、校歌・応援歌を収めた CD もございます。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

- 『青山百二十年史』書籍 (CD-ROM 付き) 10,000 円 (送料・振込手数料別途)
創立百二十周年記念式典 DVD 2,500 円 (送料・振込手数料別途)
『青山同窓会 百二十周年名簿』 5,000 円 (送料・振込手数料込み)
校歌・応援歌 CD 1,000 円 (送料・振込手数料別途)

ものと、他の学会等と連携して行うものとの2本立てを考える。具体的内容として次のもの考える。詳細な内容や、実施の形式（誰がどのような形で行うのか、また依頼するのか）については今後の検討課題とする。

(1) 広報：これまで学会として行った復興支援活動の報告を行う（例：HPその他で義捐金支援の報告、成果報告等を掲載）。

(2) 科学的根拠に基づいた情報の提供：世の中が少しずつ落ち着きを取り戻していること、少しずつデータが積み重なってきたことを受け、現段階において全体を見渡したレビューを行う。形としてはシンポジウム、和文機関誌での特集、本（報告書）、論文等。

(3) 一般に対する啓蒙：パンフレット等の印刷物の作成また、東京電力福島第一発電所の放射能汚染事故と水産業についても、会員がさまざまな調査・対策を行っている。

福島県においては、震災直後はヒラメ、アイナメなど海底近くに棲む底魚において100ペクレル/kgを超過する検体が高い割合で出現した。時間の経過とともに、全般的に100ペクレル/kgを超過する検体の割合は低下する傾向にある。

私たちは食品のセシウムの濃度を気にしがちだが、実は、私たちが食品から自然に摂取する物質としては放射性カリウムの濃度のほうが高い。それを科学的にどう判断し

て対応するかは水産業の課題である。

震災前、福島県には若い漁業従事者が多くいたが、魚を買う人がいなければ漁業は成立しない。被害の連鎖を防ぐことを第一に、福島の漁業の今後について考えていかなければならない。

#### IV. 水産業の復興と日本の水産業が抱える問題

近年、日本の漁獲量は大幅に減っており、漁業従事者も、特に若い人が減ってきている。日本人の食生活の変化によって、魚介類より肉類の摂取量が増えている。

日本の水産業が抱える問題には、東日本大震災によって生じた問題と、震災が起こる前から潜在的にあった問題があるが、今後の課題としては以下のような内容が挙げられる。

- ・若者の魚離れの阻止
- ・漁業従事者の減少の阻止と重労働、コスト高の改善
- ・自給率の上昇および国際競争力の促進
- ・漁場の保全と魚介類の持続的利用
- ・低・未利用海洋生物資源の活用
- ・効率の養殖の確立
- ・東日本大震災からの復興

東日本大震災からの復興をバネとして、日本の水産業が抱える問題をいかに解決していくかが重要である。

(樋口真佑子)



#### 講演2

##### 「安吾とシネ・ウインド」

齋藤正行さん (76 回)

私と坂口安吾との出会いは高校の時でした。国語の授業で、安吾が新潟高校出身の作家ということを知り、図書館で安吾の作品を手にとったことが全ての始まりでした。最初に読んだ作品は「風博士」と「吹雪物語」。読んだ時の率直な感想としては、内容が余りにもエキセントリック過ぎて、全く理解出来ませんでした。しかし理解出来なかっただけではなく、あまりの衝撃に勉強が手につかなくなり、その不思議な魅力に取りつかれてしまいました。何度も読んでうちに、頭がおかしくなってきたように感じてきたほどです。

社会人となった後は新潟に戻ってきて、しばらくは一般の企業で働いていました。そんな中で耳に入ってきたのが、当時古町にあった映画館・ライブの閉館のニュースです。最盛期には東映、東邦、松竹、グランド、大竹座はじめ数々の映画館が軒を連ねていた新潟市内も、この頃には徐々に映画の灯りが消えつつありました。学生時代から足繁く通っていたライブが閉館すると聞き、自分たちで映画館を起ち上げようと決意しました。

とはいっても、決して簡単なことではありませんでした。新潟市民の皆さんに新しい映画館設立の趣旨をご理解いただき、出資をお願いするために駆け回りました。お陰様で、ご賛同いただいた皆さんから出資してもらうことになり、1985年12月、新潟市は万代に市民映画館シネ・ウインドが開館しました。こんな風に、何もない一般の市民たちが中心となって資金を集め、映画館を運営しているというのは世界初の試みでした。ちなみに、名前についているウインドとは英語で風の意味。坂口安吾の作品のテーマでもある風から採った名前です。

シネ・ウインド開館から28年経った今年、従来使っていた35mm映写機に加え、デジタル映写機も導入しました。「35mm映写機を廃棄しないとデジタルシネマを卸さない」というハリウッドの方針に反対し、両方とも対応できる映画館となりました。これについても市民や協力者の皆

さんに根強くご協力とご理解をお願いさせていただき、最終的には2,000万円もの募金を集めることができました。シネ・ウインドが皆さんから愛され続けていることを、とても嬉しく感じています。

さて、安吾の会についてですが、こちらは1987年10月に設立しました。私が世話役代表人に就任し、シネ・ウインドと安吾の会、2足のわらじを履くこととなりました。とはいえ2つは表裏一体のものです。どちらかを切り離すことなんてできません。

会場の皆さんに坂口安吾とはどのような人物だったのかを知っていただくため、坂口安吾記念館「安吾・風の館」で放映されている、彼の足跡をたどった映像「安吾の暗号」をご覧ください。(会場にてDVD上映 以下にその内容をご紹介します。)

明治39年10月20日に中央区西大畑町に生まれた安吾は、破天荒な少年時代を過ごし、昭和6年に文壇デビューを果たしました。学生時代に「余は偉大なる落伍者となって、いつの日か歴史の中によみがえるであろう」と学校の机に彫り込んだ安吾は、毀誉褒貶の中で数々の強烈な文学作品を世に放ちます。終戦直後の昭和21年に発表した「墮落論」「白痴」の2作は、「一切の無駄なき必然の美」「生きよ、墮ちよ」「人は正しく墮ちる道を墮ちきることが必要なのだ」などの数々の名文句に代表される凄まじい内容から、戦後の日本に大きな衝撃を与えました。これが坂口安吾という人間であり、彼をこよなく愛し研究しているのが安吾の会です。最近では新潟市でも坂口安吾にスポットを当てるようになり、2006年に安吾生誕100周年を記念して安吾賞を設立したほか、西大畑町にあった旧市長公邸を「安吾・風の館」とし、安吾の足跡や資料を設置した場所として生まれ変わらせました。郷土新潟が生んだ偉大な文学者・安吾が、21世紀の新潟に再び姿を現したかのように感じています。

会場では新潟市の古き時代の懐かしい映画館の写真もスライドで紹介されました。

新潟高校の偉大なる先輩にして奇人・坂口安吾。皆様も近くにお立ち寄り際には、「安吾・風の館」、そして新潟が誇るべき映画館「シネ・ウインド」にお立ち寄りになられてはいかがでしょうか。(五十嵐悠介)



# 第 10 回 青山学術文化講演会開催報告

会報編集委員 五十嵐 悠介 (107 回)  
会報編集委員 樋口 真佑子 (113 回)

平成 25 年 11 月 16 日第 10 回青山学術文化講演会が、新潟高校視聴覚ホールで開催されました。

今回の講師は次の方々です。

- 1 渡部終五さん (74 回)  
北里大学海洋生命科学部教授、  
東京大学名誉教授、日本水産学会会長
- 2 齋藤正行さん (76 回)  
新潟・市民映画館シネ・ウインド代表、  
安吾の会世話人代表

以下、それぞれのご講演について要旨を報告します。



### 講演 1

「東日本大震災からの  
沿岸地域の再生の課題  
—水産業を中心に—」  
渡部終五さん (74 回)

#### I. 北里大学三陸キャンパス周 辺の被災状況

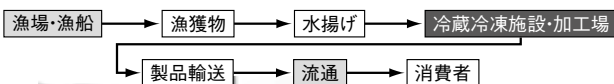
東日本大震災により校舎が大  
きな被害を受けて半分以上使え  
なくなり、教職員や学生は非常に大変な思いをした。公表  
されているデータによると、最も高い津波は岩手県の釜石  
と大船渡にきており、地盤沈下は釜石市、大船渡市、陸前  
高田市で 6~7m に達した。岩手県の漁港の被害総額は  
3,000 億円近くで、ほとんどの水産加工施設が被害を受け  
た。大船渡漁港市場は地盤が約 7m 下がって水揚場が海  
面すれすれとなった。現在ではだいぶ復旧が進んでいる。  
市場の建屋内部は修復されていないが、新しい市場の建  
設が進んでいる。

#### II. 日本学術会議における取り組み

日本学術会議では東日本大震災復興支援委員会を震災  
後すぐに発足させ、各分科会が活動に取り組んでいる。

- ①産業振興・就業支援委員会 (本年度からは渡部さんが  
副委員長を務めている)

昨年 2 月 23 日に宮城県気仙沼市で現地調査を行い、  
気仙沼漁業協同組合との意見交換会を実施した。気仙  
沼は、震災前はカツオの水揚げ量が日本一であったが、  
最大の課題は 5 月からのカツオ漁の操業と 8 月下旬から  
入るサンマ漁に対応することのこと。漁獲物の陸揚げ  
ができて冷蔵庫など貯蔵施設がないと水産加工がで  
きない (水産物のサプライチェーンの問題、図参照)。



水産物のサプライチェーン

貯蔵施設や水産加工場の復旧には沈下した土地の嵩上  
げが必要となる。漁港区域の復旧は農水省の水産庁が、  
市街地は国交省がそれぞれ管轄しているが、気仙沼は  
漁港の後背地が狭く、町の中に加工工場を建てたため、  
工場がある区域は漁港区域としてみなされない。市街化  
区域の復旧工事が遅れているため、このままでは復興す

るまでに 5 年以上かかってしまい、水産業関連の企業は  
ほとんどが倒産してしまうだろう。頑張っているところ  
は自己資金で復旧を行っているが、本格的な復旧には  
至っていない。もともとあった沿岸漁業の問題が、震災  
を機に浮かび上がったといえる。国としては、このよう  
な大きな被害の際の緊急ルールをつくるといった対応が  
求められる。

- ②東日本大震災に係る食料問題分科会 (渡部さんが委員  
長を務めている)

大地震・巨大津波の直撃を受けて漏洩した東京電力  
福島第一原子力発電所の放射能は、農林水産業に対し  
て広域にわたって長期的に多大な影響をもたらすことが  
危惧されている。このような背景のもと、農林水産業に  
おいては安全な食料の早急な供給回復が求められてい  
る。さらに、長期的な視野に立つ食料の安全対策も重要  
な課題となっている。これらに対して、食料科学  
の立場から解決策を協議している。食料だけでなく、サ  
プライチェーンも含めて問題の解決に取り組んでいる。

- ③食料科学委員会水産学分科会 (渡部さんが委員長を  
務めている)

主に水産業中心の提言を行っている。東北地方の復  
興は単に、漁船、漁港、増養殖、加工、流通などを個別  
に復興させるのではなく、これらの施設・設備や業種を  
互いに連携させた総合的な復興の取り組みが必要であ  
る。復興に際して、格差是正や漁村・漁港の淘汰などの  
問題は深刻である。水産業の多面的利用を含めた提言  
が必要となる。また、放射能汚染の影響は風評被害をも  
たらしている。外洋調査や定点観測 (生態系モニタリ  
ングを含め) など、どのような機関が取りまとめるのがよ  
いのかを検討すべきである。海がどういう被害を受けて  
いるのかを調べるのがとても重要である。

#### III. 日本水産学会における取り組み

(公社) 日本水産学会・東日本大震災災害復興支援検  
討委員会 (特別委員会) (渡部さんが委員長を務めている)  
では、以下のような取り組みを行っている。

- ①津波被害からの復旧・復興 (漁協問題、漁獲物サプ  
ライチェーンなど)

・2011 年 8 月に、日本水産学会から 9 機関に対して、1  
件あたり 5 万~78 万円の義捐金を配分した。この資金  
を用いて活動した結果を報告してもらい、これを日本  
水産学会から広報することが合意された (前会長のと  
きの活動)。

- ②放射能汚染問題 (モニタリング、全量検査、汚染物質  
処理など)

・福島県では漁業が中断しているが、再開に向けた検討  
が福島県漁連を中心になされていることに関する情報  
提供があった。日本水産学会としては、水産物が安全  
かどうかを直接消費者に向かってアナウンスするより  
も、ある水産物のセシウム濃度が高い (または低い)  
理由を、魚類生理学や魚類生息域回遊経路などから説  
明する役割がある点が指摘された。

・お米では放射性物質をベルトコンベア式の機材で検  
査する方法が開発されていることを紹介。日本水産学  
会としては、水産物の安全性が確保されたものとそう  
でないものが市場流通過程で混合しないような方法を  
助言する等の活動ができるであろう。

- ③広報活動について

・本委員会の活動については、日本水産学会独自で行う

# 新春特別鼎談 「新潟を、青山を語る。」

会報編集委員 坂井 奈津子 (96回)

88卒

## 出席者略歴

長谷川 義明(61回) '53卒：  
はせがわ よしあき

昭和33年3月 京大工学部  
卒、同4月建設省入省

平成2年11月より平成14年

11月まで新潟市長

青山同窓会会長

森 邦雄(75回) '67卒：：：  
もり くにお

昭和46年3月 中央法学部  
卒、同4月新潟県庁入庁

平成20年4月より新潟県副  
知事就任

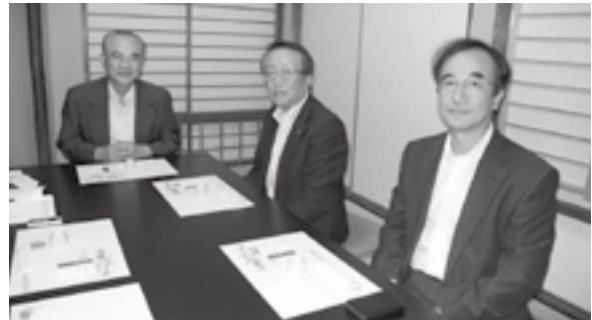
花角 英世(85回) '77卒：：  
はなすみ ひでよ

昭和57年3月 東大法学部  
卒、同4月運輸省(現国土

交通省)入省

前国土交通省大臣官房審  
議官

平成25年4月より新潟県副  
知事就任



に入られたのですか？

森副知事(以下敬称略) はい、  
そうです。当時は就職先も限ら  
れていました。オープンな就職  
試験というのあまりない時代  
でしたからね。私は新潟県と東

京都の両方の公務員試験を受け  
ました。新潟を選んだのは、大  
きな理由があるわけではなく、  
学生の時に山手線に乗っている

酔っ払いの姿を見て、若いうち  
は東京も面白いけれど、いずれ  
ああいふ風になるのかなあと

思ったら、ぎりぎりまで悩みま  
したけれど、新潟県を選んでい  
ました。

長谷川 まだ、県庁には大卒は  
少なかつた頃でしょうか？今では  
大卒が当たり前になっているけ  
れど。

森 はい、30人位でしたしよ  
うかね。

長谷川 花角さんは、運輸省に  
入られたのですよね。

花角副知事(以下敬称略) 私  
は進学先が法学部でしたから、  
周りは法曹を目指す人、国家公  
務員を目指す人、企業に行く人

に三分されてきました。そのど  
れかになるんだろうなあ、と

思っていたのは事実です。司法  
試験に落ちて、国家公務員に受  
かったと言うだけの事かもしれ  
ませんね。

長谷川 国家公務員になって、  
国の施策に自分のやりたい思い  
を発言する機会を持ちたいとい  
うお考えだったのでは？

花角 そんな立派な気持ちでは  
ないです。学園紛争は終わって  
いたのでですけど、水俣病などの  
公害訴訟の熱気が残っている時  
代で、社会的弱者や光が当たら  
ない人達を救う、という感情が  
あったのも事実ですね。法曹は、  
そういう人達をミクロで救う  
のだけでも、国家公務員は国家  
組織として制度で多くの人達を  
救える、そんな意識でした。青  
臭い書生論ですが。

長谷川 若い頃は、みんな少な  
からずそういう気持ちは持って  
いますよね。

花角 若い時のそういう気持  
ちは大切です。純粹に伸ばしてい  
ければいいと思います。

ますね。  
長谷川 そしてこのたび地元新  
潟に副知事としてお見えになっ  
たのですね。

花角 地元に行くのは稀な例で  
す。むしろ、地元には行かせら  
れない事が多いですから。

森 花角さんが国交省にいら  
る時、まさか一緒に仕事すること  
になるうとは思っていなかった  
ですからね。

長谷川 森さんもやはり県庁の  
中を色々回られたのですか？

森 私は予算の担当がずっと長  
かったのですよ。まず財政課に  
配属になりました。昔はたたき  
上げの人ばかりだったので、た  
まには大卒も入れてみようと思  
ひ込まれて、30歳過ぎ位まで予  
算ばかりでした。

長谷川 財政課ですか。予算担  
当をそれだけ長くやられたら、  
県政の隅々までわかってきま  
すよね。

森 県とか市町村の公務員とい  
うのは、事務屋の場合、色々な  
仕事が出来るといふ事がありま  
すね。国家公務員がその道のエ  
キスパートで行くのと違って、  
例えば辞令一つで昨日まで福祉  
をしていたのが農地の用地買収  
をする事になったりとか、そう  
いう面で、40歳位近くまでいろ  
んな仕事が出来るのは地方公務  
員の一つの魅力ですよ。

長谷川 新潟県というのは土地  
の状況が厳しいですね。海岸線  
が長いでしょうか？大河信濃川  
系の治水の関係も大変だし、地  
震に地滑り地帯も多いでしょ  
う？しかも平野という農地で  
しょ。土地の安全など相当公共  
投資にウェイトがかかってしま  
うから、県財政にとって厳しい  
状況があるのではないですか？

森 そうですね。県土が広い分  
投資額が多くて大変だねってよ  
く言われます。しかし、県民の  
皆さんの実感からすると、まだ  
まだ足りないという気持ちがお  
話しているのと出てきますから  
ね。どういふ風に割り振ってい  
くかという事が課題ですね。

長谷川 その点、新潟市の場合、  
一級河川は国の管理だし、国道





も国管理でしょ。港湾も県がやってくれるしね。大きな事業は国や県がしてくれので、市の財政としては非常に助かる事が多かったですね。それにしても、県民の安心安全とか、経済成長とかの期待は大きいですからね。期待に答えていくという意味においては両副知事さんの手腕が色々期待される場所ですね。

### 時代によって違う少年の夢

長谷川 ところで、お二人とも、もともと新潟のご出身なので、森 はい。転勤族でしたので、浜浦小学校を出て、中学1〜2年は長野で過ごして中学3年で

閑屋中学校に戻ってきました。花角 私も父が転勤族でしたから、小学校は佐渡の金井小学校と両津の加茂小学校で、4年生から新潟市の有明台小学校です。中学は引越して住んでいる地域が変わってしまつたので、仲の良い友達と附属新潟中学校に行きました。長谷川 どんな夢を持った少年時代だったのですか？森 夢ですか、どうだったかなあ。私は一番にグラウンドを取るのを争って野球するような子供でしたからね。落ち着かない子だから書道でもやれという事で書道始めたのだと親が冗談交じりで話していましたよ。そんな事で、高校では書道部に入って良寛の拓本をやらせて頂いたりしました。花角 私は、今では死語になつているかも知れませんが、特派員という職業に憧れていた時期がありました。海外でリポートする仕事に憧れていた時期がありましたね。長谷川 特派員ですか。すでに国際性に目覚めていたんですね。僕らの時代は山本五十六元帥になりたいと言つて海洋少年団に入っていましたからね。全く時代が違いますよ。子供はやつぱり時代時代の影響を受けざるを得ませんよ。

### 少子化に歯止めをかけた

長谷川 県政の問題で、これだけは青山の同窓生に理解してもらいたい、というものがあつたら、お話し頂きたいのですが。どうですか？森・花角 うーん、そうですねえ。森 まあ、青山の同窓生の皆さんには早く結婚して子供をたくさん作って頂きたいって事でですね。余りに単刀直入で冗談に聞こえるかもしれないけど、少子化の問題が新潟県でも大きいのですからね。女性の方の負担が大きいという事で、子供を作りづらい環境を変えていきたい。花角 そうですね。私も人口問題が最大の課題だと思います

ね。新潟県の人口は、平成9年のピーク時249万人から232万人になつています。直近だと年間1万5千人余り減つています。これ、4年間で村上市が消える勢いです。大変深刻な状況だと思えます。長谷川 「県民歌」で「県民二百五十万」と歌っているのね。花角 若い世代が県外に出るんですよ。社会減と言いますが4〜5千人くらい。18歳の大学進学の時と、22〜23歳の就職の

時期にごそつと抜けます。若い世代が抜ける事で自然増に影響をあたえていて、結局自然減が1万1千人くらいになります。森 県外に出た若い世代が、新潟に戻りたいなあどと気付くのがやはり40〜50歳くらいで、もう生活の基盤が出来てしまつているから戻る事はなかなか出来な

いですよね。長谷川 新潟県の子育ての環境はどうなのでしょう？例えば、横浜などでは保育園が無い事が問題になってますよね。新潟の状況は良い方なのですか？森 新潟では保育園に関しては大丈夫ですね。長谷川 新潟に戻つてこないという事は、いい仕事がないって事ですかね？

花角 労働者の所得でも首都圏に較べれば、一人当たりの勤労者所得がずっと低いですからね。だからこそ、金額などではあらかわせない新潟の魅力アピール出来るというんですけどね。自然環境や食の魅力など、色々あると思うんですよ。森 同期の友人でもリタイアして新潟で今までの経験を生かしている方が結構いますよ。そういう人材をうまく活用出来ればいいなとも思います。花角 私が36年ぶりに新潟に

帰つて来て、とにかくびっくりしたのは、人がいない事です。街を歩いている人を見かけない。新潟市は県の中では比較的に人口を維持しているのに。都市の外縁が広がつてきて、モーターゼーションで歩かずに車を使って買い物に行つていたり、中心部が空洞化してきている事もあるのかもしれないけど、高齢化する中で出歩く回数が減つてきているという事も考えられますね。

長谷川 これは地方都市共通の悩みだと思えます。商店街の商店主さえも店を人に貸して郊外に住むようになってきていますからね。商店街に対する愛着心も無くなつてきているのではないかな？と思いますね。私も良寛の活動で古町の人と関わっています。一時期、企画力だとか斬新な発想力とかがもてはやされたけれど、結局それだけでは仕事は出来ないですからね。

森 一時期、企画力だとか斬新な発想力とかがもてはやされたけれど、結局それだけでは仕事は出来ないですからね。花角 信頼関係のないところに大きな仕事は出来ないですよ。新潟高校出身者は、同じ青山同窓生という事で信頼関係を持っているというのは、アドバンテージですよ。長谷川 私が市長に当選した時



も、同期が応援してくれたのですが、当選後に恩師の先生が、同期の仲間達に「長谷川君に物を頼まないのが最大の応援だ

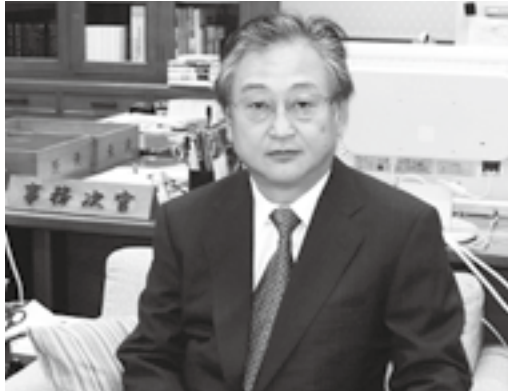
よ。」と言ってくれました。だから誰も私的な事を頼まなかったですね。利己的な人間関係でなくていいですよ。青山は。

森 私を感じるに、青山同窓生は余りつるまないですよ。いい意味でも、悪い意味でも。自然体で付き合っているというのが多いですからね。

長谷川 仲良く集まったりしていても、利害のために集まっているわけではないですからね。

森 社会に出てから、色んなところ、先輩や同窓生がいる事は、とても心強いし、すごい財産だと思います。

花角 私は新潟に戻って来て初めて、高校というものを意識しました。正直、東京で仕事をしていた高校を意識することはなかったです。こちらに来て、同窓生が多くて仕事がやり易いというか、心強さを感じますね。ただ、後輩たちに言うとしたら、青山同窓生は群れない、つまらないとおっしゃったんですけど、周りはずごく新潟高校出身者に対して意識していると感じます。新潟高校を卒業したという事を誇りに思うべきだとは思いますが、それが功利的な意味で言いますと、実利で役立つ事が世の中でいっぱいあるので、誇りを大切に友人知人を大切に



東京霞ヶ関、歴史を感じる建物の財務省に財務事務次官の木下康司さん

**同窓生訪問**

**財務省 財務事務次官**

**木下康司さん (83回)**

**75卒**

会報編集長

石井 智裕 (79回)

71卒

下康司さんをお訪ね致しました。今でも新潟高校時代の旧友との交流を欠かさない木下さんに思い出やお仕事のお話をお伺いしました。

**高校時代の思い出について**  
高校時代は人生で最も楽しく思い出深い3年間でした。ラグビー部に所属し、勉強とラグビーを一生懸命やり、青陵祭の応援歌の練習も楽しかった。旧制高校を思わせる自由な校風で先生方も暖かく見守ってくれた。同

するのは素晴らしい事だとは思いますが、一方でその事を色々な目で見ている世の中があるのも事実だから、そこは自制しなさいよ、と言いたいですね。

長谷川 青山の同窓生は常に周りから注目されているという意識を持たないですよ。

そして、周りとの信頼関係を大切に大きな仕事を成し遂げて、是非新潟の地域に貢献する

人物になつてほしいですね。在校生にはそう期待しています。本日は大変ありがとうございました。お二人の益々のご活躍をご祈念いたします。

(取材同席 富山幹事長 石井編集長 坂井編集委員 2013.10.7)

期の小沼君沖野君達と麻雀を覚えたのもこの頃で、座を囲み友人たちと夜遅くまで語り合った。2年の秋のラグビーの大会では当時連戦連勝の新潟工業に勝ち大喜びしたが次の春には大敗し、勝つて兜の緒を締めよの人生訓を得た。

勉強は一生懸命した。普段は勿論だが試験の前はクラブ活動が昼休み練習だけになり、夜は集中して勉強をしました。

多い方でした。世の中に影響力のある良い仕事をしようという思いは強く持っていました。本年で35年目。主計局15年、銀行局関連5年、大臣官房6年、海外国係(国際局長、EU代表部参事官(ブリュッセル))4年、秘書官は3年で中曽根内閣の秘書官補佐、小淵内閣、森内閣、小泉内閣で各官房長官(青木、中川、福田の三氏)の秘書官を経験しました。

2番目は平成21年秋自民党から民主党に政権交代が行われた時です。当時主計局筆頭次長で「何の前例も通じない」時代に予算編成に関わりました。そんな時代でも当時の藤井大臣、野田、峰崎両副大臣の理解を得られ、予算の年内編成ができました。これは苦しくも嬉しい思い出になります。国家予算年内編成の国民生活における重要性は大きく、民主党も意思決定の仕組みが整備しきれておらず慣れない中、マニフェストでうたつた歳出削減が急激には進みきれない事を民主党からも理解して頂き、政権を支えながら主計局も協力し予算編成作業を行いました。

**現在の進路に進むきっかけは**

父が医者であり、兄も医学部だったので文系を選択した。東京に出たかったので東大の文一(法学部)を目指した。東大でもラグビー部に入部し1年生で慶応早稲田との練習試合にも出場した。新潟高校のラグビー部のレベルが高いということを実感した。しかし体を壊しラグビーは中断せざるを得なかった。自然と勉学と麻雀の学生生活になった。文一は行政司法に向かう気風があり、当時の大蔵省の面接で入省のお誘いを受け、この道に進むことになりました。(次官はさらりとお話しされましたが相当の努力の結果とすることは理解ができます)

3番目は平成23年夏、国際局長時代に欧州債務危機が起こった時です。ドル円は一時75円に迫り、円高阻止のため、8月と10月末から11月にかけて13兆円以上の為替介入を行いました。この時手元に入ったドル資金は円高緊急フアンシリティとして企業に貸付たり、IMFに対して貸付けたりして活用しました。

**入省後の進路は**

昭和54年入省。同期は28名で

**後輩や在校生への人生のアドバイスとして**

新潟高校は先生に引率され在校生が先輩を訪ねる企画が有り財務省にも来訪します。現在同

窓生は財務省に3人います。どの業界でも通用することとしていくつか挙げてみます。

1. スポーツをして体力胆力を養う。

勉強以外にクラブ活動などを通して組織人として頑張り、達成感に熱くなれることの快感を養ってください。

2. 英語、外国語を学ぶ。

日本国、日本人の将来を考えると成長する海外で活躍するしかないと思えます。中国、韓国の人はハングリー精神で頑張り、アセアンもこれに追いつこうとしている。日本人も頑張らないと今の豊かさは維持できなくなる日が来る。新潟高校には希望者にアメリカ研修のプログラムもあると聞くが活用して欲しい。

3. よく遊びよく学べ。

新潟高校は多方面に多彩な人材を出している。役人、経済人

同期会報告

青山六三会「喜寿を祝う会」

赤羽 良樹 (63回) 55卒

我々63期生は小学3年時に終戦。高校の修学旅行中に母校が火災。焼け残った体育館をベニヤ板で仕切った教室で授業。大

だけでなく映画監督、小説家、論説委員、TVキャスター等多様性を備えている。勉強だけでない豊かな人間性を養って欲しい。

次官は現在は財務省全体としてアベノミクスを支え実現させるミッションに取り組みられています。消費税率引き上げ、転嫁の円滑なる実施。デフレ脱却のため、経済回復と財政規律遵守の両輪をしっかりと運営させる方向で次年度予算編成、税制改革に取り組みられています。

為替、金利、経済、財政をしつかりさせ民需拡大による経済基盤を磐石にさせる道筋に邁進されておられます。帰りに際し、次官はとても丁寧にご挨拶をしてくださいました。今後の木下様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。(※特別寄稿に関連投稿あり)

いるあつたが、今年喜寿を迎えた。メデタイ盛大に祝おう。77才に因んで7月7日に鍋茶屋でやろうと盛り上った。

最優先に予定して欲しくて新年早々に流し、途中追伸をいれて、最終参加決定63名となった。

当日、まず例によつて和田君に記念写真を撮ってもらおう。経過報告「女性メンバーが、夜は出にくいから昼の会にしてという声が強かったので12時開宴という会になりましたが、結局2名申し込んだ方もキャンセルとなり、出席がO!誠にし訳なく、残念。」村山弘義君の乾杯発声で宴が始まる。新潟きれいどころの踊り、山田豊君のフルート演奏と横田君の応援指導とにぎやかだ。希望多数で椅子テーブル式にして交流も盛んな様子。吉田君の中メの後、会場を変えて、今度は庭の見える座敷で大テーブルを囲んで20名程が座り話はずむ。最も遠く九州大分から参加の野崎君のメでお開きとなる。今井巨君御親族の方が日銀支店前に新

規開店された、という事で、炭酸水ボトル2本づつ皆がお土産にいただく。6時近くだがまだ明るく、古町通りをブラク流す。3、4人で「コーヒーを飲もう」と白十字へ入ると、何と先客が6、7人いて「ヤア」とまたまた盛り上げる。

米寿、白寿と目指す目標は遠いが、まずは2、3年先の傘寿を目指す。皆さん元気でまた集まりましょう。

「青山68会展」終了

若松 昌弘 (68回) 60卒

10回目を迎えた「青山68会展」は昨年9月8日無事終了。11年前の2月に「絵画や写真で公募の展覧会」で入選したり、個展を開いたりしている同期生が結構いる。これらを集めて作品展を開こうと話しがまとまり早速実行に移る。

その年の9月に第1回の作品展を開催。1回目から6回目までは県民会館1階の展示コーナーで開催。出品者や出品作品も多く会場を変更。7回目から10回目の今回までNSTギャラリーで開催。最初は1回か2回ぐらい開催すればやめる予定が10回まで続いた。出品条件が単純なこともあったと思う。出品者は68回卒業生で作った「青山68会」の会員か、会員の夫または妻。作品は絵画・写真・工芸・文芸作品。収集品などなんでも結構。言ってみれば学生時代の文化祭の延長。しかも上手・下手は関係なし。楽しければそれでよし。

出品者は新潟在住者だけでなく、関東方面の同期生からも急便で作品を送ってくる。展示作業は出展者だけでなく出品しない同期生も手伝う。なんだかんだと言いなながらも高校時代に戻った気分でした。会場を移した7回目からはM君と同期生の社中による抹茶の無料サービスも実施。大勢の来場者から楽しんでもらえた。会場では作品を見ながら久しぶりに会う同期生同士の会話が弾んでいた。この作品展に1回でも出品した同期生は50人にもなる。10回も続けることある程度マンネリ化したこともあり、今回で一応終了とした。これまでに会場へ足を運んでくれた方々に厚くお礼申し上げます。



### 青山80還暦同期会

実行委員長 大塚 善紀 (80回)

72卒



平成25年11月9日、雲一つない秋晴れにめぐまれた気持ちの良い日に、80回(昭和47年卒)の同期会を開催しました。

会場の古町花街の香りを残す木造三階建ての鍋茶屋は、文化庁の保存文化財に登録されており、現代建築にはない空間の贅を堪能することができます。その三階の二百畳の大広間で、円卓椅子席7名掛け、18卓126名の大盛況で、本当に楽しい時

をすごしました。また案内文にカンパをお願いしたところ、参加不参加にかかわらず、100名の方がカンパを寄せて下さり、おかげさまで充実した内容のおもてなしができました。ありがとうございます。前回は卒業以来30年で初めてでしたが、12年ぶり2回目の今回は還暦を祝い、60年走り続けてきた人生をふりかえり、高校時代の友人たちと旧交を温めながら、ゆったりと楽しみましょう。人生の節目の年です。お祝いしましょう。これが実行委員会のテーマでした。

滝沢強一先生のご挨拶にありました、「無事に生きて来てほどこどの生活ができて、健康で出席できる幸せ」を感じました。

若手芸妓総出演の祝舞が、これから始まる宴への期待感を高めます。乾杯のあとは祝宴の始まり。情緒あふれる

る華やぎのひとつときです。お料理のおいしさはもちろんですが、特別に青山のマーク入りラベルで用意した大吟醸は、かくだんに雰囲気盛り上がり、大いに喜ばれました。

なつかしいね、楽しいね、おいしいね、うれしいねと、会話は弾み、お酌もすすむ。時を忘れました。

### 40周年アラ還同期会

#### — 懐旧と追憶と新たな友情と —

伊藤 秀夫 (81回) 73卒

2013年6月22日、ANAクラウンプラザホテルに、卒業後40周年の同期生104名が集まった。

81期は、93年から5年ごとに同期会を開催してきた。同期会の際に、エビで鯛を釣るような「くじ引き」な方法で次回の主幹事クラスを決めており、前回08年の宴会で見事釣り上げられた10組が、今回その大任を負っていた。10組では、93年当初から、真壁弘君がクラス幹事を務めており、81期幹事全体の中でも重きを担ってきたが、残念なこと10年2月20日に急逝した。幹事全体、中でも主幹事の10組幹事団の衝撃は大きかったが、結束して準備に当たって

恒例の丈夫は、入学直後の上級生指導の応援歌練習で、度肝を抜かれたことや、青陵祭や新潟高校の記憶と直結して、歌う度にあの時代に戻れる。丈夫は私たちの誇りそのものですね。おひらきの後、大挙してイタリア軒へ、さらに楽しい夜は続きました。

思えば、この5年間、悲しい知らせが目についた。前回までクラス担任10名中「逝去」の記載は志賀哲夫先生(英語)のみだったが、小泉英雄先生(体育・10年4月7日)、遠藤久雄先生(国語・11年6月22日)、松沢昭然先生(世界史・13年3月29日)と、訃報が相次いだ。同期生名簿の中にも「逝去」の記載がちらほら見える。そういえば、前回と今回のほぼ半ばの時期に東日本大震災が発生した。同期会は、鎮魂と追憶を「要素とする。黙とうで会が始まった。

しかし、それはそれとして、同期会は楽しくなければならぬ。懐かしい顔と顔が、互いの

笑顔誘い合う方が良い。今回も、先生方(4名)の温かいご挨拶があり、心地良い酔いが進み、あちらこちらで湧く笑い声が会場を包んだ。スクリーンに映された新校舎を案内する創作DVDに皆が見入った。次回主幹事クラスも無事針にかかった。最後は、DVDで流されていた最新の青陵祭における高音のそれ(黄色い——)とはまったく異なるパンカラな「アオヤマ」をがなりたてて、5年ぶりの宴の幕を閉じた。

行きがかり上幹事代表的な立場に立たされてプレッシャーを感じてきたが、楽しく責めを塞いで解放された。全幹事の協力に感謝しつつ、早くも18年の再会を心待ちにする日々である。

### 90期同窓会伝説「知命の祝い」編

田邊 靖貴 (90回)

裕美 (90回)

82卒

82卒

天命を知る歳ともいわれる50歳記念同窓会は、平成25年10月13日に行われた。遡ること10年前、学年主任の上杉雅之先生に発破をかけられ、初代幹事代表 袖山敏明君と山田修敬君という英傑の大活躍により、第1回同窓会が180名を超える参加者を集め大成功を取めた。第2回

は幹事代表の池元太郎君、坂田文彦君を中心に「3年の青陵祭や2年の文化祭映画の上映」を行い、150名を超える参加者で再び大盛会となった。この2回の同窓会によって「90期三種の神器」ともいえる「400名を超える住所録ファイル」と「高校時代の思い出を取めたDV





D、「10数名のCore幹事」が生まれた。第三回は斎藤隆君・田邊靖貴を代表・副代表として、新メンバーを加えた「10年物」の幹事会が発足した。平成24年春のことである。

第3回同窓会は7名の先生を含めた総勢166名(女子45名)が出席した。今回は12時半の開会から中締め&集合写真撮影をさきみ、17時半の閉会まで同一会場シルバーホテル万代の間で行われた。会を中断すること無く、5時間という充分な時間をとって「過去を振り返るだけではなく、未来への希望をも語り合う会」にするためであった。

恩師の近況報告では、上杉先生を始め其々の先生が澁刺とした引退後の生活を送られていることを知り、その「雄々しい若さ」に一同驚いた。本年6月には上村長生先生のご逝去があり、闘病中の「手紙のみ」のやり取りを通じた見舞い方のお話や、また、50歳を迎えた我々への「心の奥底に響き渡る激励」も伺うことができた。どの先生のお話も忘れられない思い出になった。

終盤の青陵祭と文化祭映画の上映では、皆がそれまでの話を中断して見入っていた。最後は壇上で応援団とラグビー部が「丈夫」をリードし、百名を遙かに越える全員が斉唱して会を締めた。

90期同窓会伝説はこうして次回新幹事に引き継がれる。「三種の神器」に加えて、今回の素晴らしい皆の「笑顔」とともに。

### 半世紀前をふり返る

近藤 一弥 (通4回)

62卒



新潟高校通信制を卒業して早や半世紀余りが過ぎ去りました。平成22年暮れ、恩師山田源行先生のご逝去され、「山田先生を偲ぶ文集」を手にしながら、あらためて当時のことを思い起こしているところです。

私は、西蒲原(現在南区)で農家の長男として生まれ、2ヘクタールほどの水田と果樹園を耕作する農家でした。当時は、戦後復興から朝鮮戦争の「特需」を経て、日本経済は高度成長路線へと歩み始め、農村や農業にも明るさがありました。皇太子殿下と美智子妃殿下のご成婚、池田内閣の「国民所得倍増計画」など夢を与えるような出来事もありました。私にとつての通教生活は、学習と勤労の両立とともに、当時盛んであった農村社会の活動(青年団・4日クラブ活動等)といかに両立させるか

が大きな課題でした。そのため、通信の学習は思うように進まないというのが実状でした。そのような時、昭和34年春、上重・田中氏の卒業があり、私共に大きな希望の光を与えていただきました。昭和37年春、卒業式後先生方から麦酒で祝杯をあげていただいたのも通信ならではの光景としていつまでも脳裏に染みついております。通教生は地元や職場で孤独だという声を耳にすることがありますが、私には幸いそのようなことはありませんでした。如何なる苦境や混乱に陥ろうとも自分自身の学習意欲を持ち、それを発展させるために、周囲に対して誠実であり、自分の学習に對しての理解と協力を得ることが学習を長続きさせるもただということを学びました。

私はその後大学で学び、卒業後は公立高校で「社会・政経」と「商業」の教員として34年間奉職させていただきました。現在、専門学校で若い職業人の育成に関わっております。今の時代は、経済はデフレ化、物は豊富であり、何でも手に入る時代

### OB会報告

### 青山体友会の集い

中川 弘 (58回)

50卒

となりました。全日制進学を断念せざるを得なかった50年前の時代とは隔世の感があります。反面、情報化社会と相まって、人と人との会話や人間関係で苦勞している若者が増加しているとともに、社会全体の閉塞感から将来への夢や希望を語る若者たちが減っていないかと心配しております。新潟高校通信制から、教育の原点を教えていただいたことをこれからの若い人たちに少しでも役立つように努めたいと念じつつ筆をおきます。皆様のご健勝をご祈念いたします。

例年にならない台風の多い今年、台風27号が連日、テレビを賑わす10月25日、第27回青山体友会が開かれた。1年に1度とは言え、なつかしい顔に会えるのが楽しみである。始まる前に記念写真をとり、乾杯の音頭と共に大会は開かれた。日本の体操は世界一の実力まで成長し、17歳の白井の出現に体操界は又一段と盛り上がりを見せ、2020年の東京オリンピックは今から楽しみである。今回は鳥屋野体育館で少年の体操を指導している味方繁夫(67回)と片桐靖孝(68回)の二人の指導をきき、こういう人がいるからこそ、伸びるのだと皆感心してきている。各人の近況が次から次へと述べられ、ピールの量が減り、賑やかになっていく。○十年前の事が走馬灯のように、頭の中を駆けめぐる。記憶とは、不思議なものだ。瞬時に、当時の事が、ありありと眼に浮かぶから不思議である。恒例の渋谷興司(53回)の手品の演技に、我を忘れて、見入る。「不思議だな」と。これ一つだけ憶えておいて下さいとの一品に、各自自分で目の前に練習する。出来た！と叫ぶもの、もたもたしているもの、一瞬に手品教室に戻る。味方繁夫(67回)のハーモニカは本格的だ。ケースより5-6本とり出し音程が全部違っているらしい。リクエストに旧制新潟中学校の校歌「玲瓏の天...」と応援歌「青山青山...」に皆合唱し、呼吸が一つになる。青

山昭郎(55回)の川田節が会場になりひびく。柳江苑の女子従業員になかなか、みなさん芸人です。おほめの言葉をいただく。健康でなごやかに、体友会は、進行していく。いつものことながら、母校に体操部がないことが、くやまれるがいつの日か、復興することを願うものである。当日の出席者は板谷啓司(51回)上田卯八郎(51回)渋谷興司(53回)青山昭郎(55回)青山茂郎(55回)安倍豊(58回)中川弘(58回)川上忠男(59回)味方繁夫(67回)片桐



**山岳部現役・OB交流会**

**創部60周年に向けて**

曾田 修吉 (76回) 68卒

平成25年8月31日(土)、9月1日(日)、台風15号が近づき西日本では集中豪雨が予想されるなか、巻機山で現役・OB交流会兼3年生追い出しコンパと登山が行われた。毎年9月の第二週目の土曜日、日曜日に行われていた交流会が諸般の事情で今年は8月31日、9月1日の

顧問の渡辺先生、竹内先生、宮沢先生及び現役の3年生が2名、2年生が6名、1年生が2名参加して行われた。OBは馬場泰(74回)はじめ、水野泰隆(72回)、山際岩雄(76回)、曾田修吉(76回)、石沢浩(79回)が参加したが、石沢君は水野先輩を律儀に目的地に送り届けたものの急用ができ帰宅してしまった。

交流会では現役1年生から順番に自己紹介で山岳部入部動機、一番好きな山などを和気藹々と話し合った。3年生追い出しコンパでは1年生2年生各自から贈る言葉が披露され、それに答えて3年生が送られる気持、将来の抱負、決意表明を行った。顧問の先生やOBからは普

**東京オリンピックピック開催決定!**

青山バスケットボールクラブ

和澄 孝男 (83回) 75卒

9月8日、ブエノスアイレスでのIOC総会の動向には誰もが注目していたであろう。「もう一度、あの感動を日本開催で体験したい」と・・・1964年の東京オリンピックのとき、私は8歳の少年であつたが、小さな白黒テレビの画面の中で繰り広げられる競技に高揚する胸の高鳴りを今でも

もて・なし」は流行のフレーズとなり、ビジネスベースでは「おもてなし企画」なる事業が業種を問わず立ち上がっているという。

オリンピックで観るスポーツは、種目別の世界選手権(ワールドカップ等)とは違ったものがある。国旗を胸につけ、国の威信を背負って戦う選手姿に、多くの観衆は惜しみない拍手を送る。オリンピック憲章の精神の詳細は理解していなくとも、自然と醸し出される雰囲気は私は好きである。スポーツを通して平和を感じることができ

**青山柔道部OB会平成25年度報告**

副幹事長

儀同 政宏 (90回) 82卒

一 現役激励会  
7月20日(土) 三宝飯店  
3年生の公式戦が全て終了し、部の活動は1、2年生に託され、3年生は目標に向かって進むべく、激励会を開催した。道場での顔とは異なり、減量を忘れ楽しい雰囲気でごちそうに向かった。今年の成績も北信越大会に出場し活躍してくれた。県新人大会でも上位入賞しており、全国大会も夢ではない。正々堂々とした青山柔道で頑張つてほしい。

二 東京青山柔道部OB会総会  
10月1日(火) 東海大学交友会館「諏訪の間」  
東京会長佐藤信秋参議院議員(74回)の2期目の当選を祝う会を兼ねなごやかなうちに近況報告をしながら盃を重ねた。  
出席者：村山健(61回)、内田定寛(66回)、堀清忠(71回)、斎藤俊正、立川克雄(72回)、佐藤信秋(74回)、成海孝二(81回)、成田昌稔(82回)、豊田清(83回)、吉田真吾(84回)、磯部晃人(87回)、名塚聡(89回)、





出席者：村田紀夫(67回)、立川克雄(72回)、佐藤成昭(74回)、小川もと(74回)、古寺吉和(74回)、相澤裕吉、齋藤斉(78回)、広井俊隆(82回)、大沢満(84回)、伊藤龍也哉(85回)、須田剛(87回)、小林久哉、中

長田充(91回)、上杉恒彦(92回) 三 青山柔道部OB会総会 11月16日(土)

総会に先立ちOB会稽古会は、1時半から母校道場で始まった。立技、寝技の乱取に、OBは年を忘れ息を切らし、頼もしい後輩に不覚を取りながらも青山柔道を伝えていた。

総会は6時に、これも恒例となった会場、東堀通八「海鮮亭羅言」で開催された。

開会のあいさつの後、東京会長佐藤信秋参議院議員(74回)の2期目の当選報告及び全日本柔道連盟の正常化について尽力していることなど興味ある話を伺った。ちなみに、佐藤議員は飲み且つ語った。

閉会は佐藤成昭先輩(73回)の万歳、その後はこれも例によって会場を学校町の「佐和村」に移し再び氣勢を上げ来年の再開を約束した。

京都大学時代、現全日本柔道連盟会長の宗岡正二キャプテンを中心とした東京大学との決勝戦において、佐藤議員の貴重な一勝で優勝したそうである。今後の柔道発展に宗岡全柔連会長とどもお力をいただきたい。佐藤議員にはご多忙の中参加いただき感謝する次第である。続いて、事業・会計等報告、母校竹石監督からの現役の活動状況の報告の後、村田紀夫先輩(70回)の音頭で声高らかに乾杯し懇親会が始まった。

そして、例年のごとく年齢差など全く感じることなく楽しく飲み且つ語った。



『2013年 青山ラグビー祭』

青山ラグビークラブ 幹事 小見 毅 (92回) '84卒

毎年、青山ラグビークラブ(新潟高校ラグビー部OB会)の恒例のイベントである、夏の「青山ラグビー祭」を、昨年は8月10日(土)に新潟高校のグラウンドで無事とり行うことができました。例年ですと真夏の照りつける太陽の中で、古いも(?)若きも楯円のボールを汗と土にまみれて追いかけるのですが、昨年は前日まで雨天の予報と新潟まつりの開催日であり、参加人数の心配をしていました。ところが当日ふたを開けてみると心地よい晴天で、参加メンバーも72回の丹羽正之先輩、折戸明先輩から昨年卒業した21回の田村君、柄澤君まで33名のOB・OGが集ってくれました。感謝です。

今年には花園に向けて残つ

た3年生4人を含め21名の現役部員との交流戦です。やはり、母校ラグビー部は部員の拡大が永遠の課題であるようで、怪我人が出るとメンバーはぎりぎりとなるようです。今年の現役高校生チームは1チームでしたので、若手OBと20分2本、オールドOBと20分1本、真剣勝負をいたしました。毎年思うのですが、OBと現役高校生との交流試合という伝統は、新潟高校ラグビー部の良き伝統を創ってくれていて、これからも大切にすべき行事だと実感しました。

試合終了後はこれも恒例の懇親会で、OB同士の懇親を深め、現役高校生を激励する、楽しくも素晴らしい時間となりました。

澤巧(88回)、山際昇(89回)、(95回)、渡邊久雄(96回)、名儀同政宏、齋藤俊弘(90回)、塚武史(97回)、小田将之(100回)、井狩歩(92回)、森克也(93回)、竹石健、目黒孝之(顧問) 西山勇治(94回)、福田仁史

前青山ラグビークラブ 会長・加藤吉策先輩(56回)を悼む

前青山ラグビークラブ会長であり、元新潟県ラグビーフットボール協会会長の加藤吉策先輩(56回)が、去る平成25年7月13日に逝去されました。新潟高校のラグビー部の発展のみならず、新潟県におけるラグビー競技の発展に多大なる貢献をされ、平成18年春の叙勲・褒章では、「旭日双光章」を受章されました。長年のご尽力に心より尊敬の念と感謝の意を表します。ありがとうございます。加藤先輩のご冥福をお祈り申し上げます。

### 青山野球倶楽部

青山野球倶楽部事務局 局長 小沢 謙一 (93回) '85卒

新潟高校野球部OB会の青山野球倶楽部と新潟商業野球部OB会の葦原倶楽部との第37回定期戦が8月15日、ハードオフ・エコ・スタジアムにて開催されました。

この定期戦は毎年お盆の15日に開催されているもので、エコスタで開催されるのは今回で三年連続三回目。最高気温は34.7度、グラウンドレベルでは45度を超える酷暑の中、現役とOBが揃って整列して開会式を挙行。

午前中は現役新チームが来春のセンバツ出場を目指して初の対戦。前半は新潟高校がリードしたものの、スタミナ切れからか終盤八回裏一挙6失点して逆転を喫し5対9で惜敗。

午後からは後輩の敵討ちをと臨んだ青山対葦原のOB戦。当

方の最年長の大橋恒夫氏(79回)が一番セカンドで先発するなど先発メンバーの平均年齢が60.7歳と大変なオールドチーム。序盤から毎年恒例の二ヶタ得点の乱戦を予想したものの、今年は大橋恒夫(61回)、中野久(71回)、高橋昇(73回)、藤縄利勝(75回)、丸山明男(75回)、宇貝孝(77回)、大塚忠雄(77回)、藤原正博(77回)、白井行雄(79回)、平尾俊彦(79回)、八巻修一(86回)、星野紹英(84回)、浅井寛(84回)、佐藤雄一郎(90回)、廣橋航(92回)、小沢謙一(93回)、茂澤昌宏(107回)、松岡功太郎(113回)、安藤旭広(118回)、齋藤了一(118回)、清水健介(118回)。



また。O B からは硬球に触れる年に一度の機会、老いも若きもそれぞれの想いを胸にエコスタでのプレーに興じていました。当日の参加者は以下の21名。大橋恒夫(61回)、中野久(71回)、高橋昇(73回)、藤縄利勝(75回)、丸山明男(75回)、宇貝孝(77回)、大塚忠雄(77回)、藤原正博(77回)、白井行雄(79回)、平尾俊彦(79回)、八巻修一(86回)、星野紹英(84回)、浅井寛(84回)、佐藤雄一郎(90回)、廣橋航(92回)、小沢謙一(93回)、茂澤昌宏(107回)、松岡功太郎(113回)、安藤旭広(118回)、齋藤了一(118回)、清水健介(118回)。

差は歴然ですが、勝ちたいばかりに大人気なく無理なハンディを押し付けるO Bも、苦笑いで受ける現役も、どちらも負けられない真剣勝負です。初戦は150mリレー。O B チームは津野さん(85回)、長谷川さん(84回)、中戸さん(83回)、山際さん(83回)がそれぞれ25mと松木さん(84回)が50mを、対する現役チームは1年女子3名が50mずつ泳ぎます。接戦になりましたが、あと一步及ばず現役チームの勝利。第2戦はO B チームが小熊さん(58回)、山田さん(63回)を加えた7名がそれぞれ25mを泳ぐ175mリレー、対するは遊びに来ていた3年の広田君による200mの変則個人メドレー。さすが3年の広田君、この対戦はO B チームに花を持たせてくれました。

そして第3戦。第2戦と同じメンバーのO B チーム対石黒君(1年)による200mバタフライ。最後の最後まで諦めないO B チームでしたが、連戦の疲れから最後には力尽きて僅差で惜敗、平田会長(60回)、江口副会長(61回)の両先輩が加わっていたれば展開も変わったかもしませんが、残念ながら今回は1勝2敗という成績でした。

レースの後は、こちらも恒例のO B による現役部員激励B B Q大会が開催され、手作りハム・ソーセージの店ラインの高橋さん(77回)が差し入れて下さった美味しいソーセージ等、自然の中でB B Qで現役部員との楽しいひと時を過ごすことができました。

参加したO B の中では一番若かったにも関わらず、交流戦では諸事情により戦力外でしたが、先輩方の活き活きと泳いでいる姿や高校生の澁刺とした明るさ、そして美しい関川村の自然に、たくさんの元気をもらった合宿でした。

暑い夏も終わりを告げ、秋の空気が流れ込んだ10月5日、恒例となった青山バドミントンクラブのバーベキュー大会を現役と合同で開催しました。会場は我々が現役時代トレーニングを行っていた(たまにサボっていた?) 関屋浜にある海浜公園。O B 14名、顧問の先生3名、現役生26名、合計43名の参加をいただき盛会となりました。

我々O B にとってはうれしい話で、今年は1年生が多く入席しました。予想はしていたものの、あまりの気持ちのいい食べっぷりに、用意した食材があつという間になくなつてしまい、現役男子が肉を取り合う状態に……急遽宅配ピザを手配し、(ピザ店からは、海浜公園への大量注文でかなり怪しまれましたが。) なんとか若者たちの腹を満たす、というハプニングもありました。

現役生は無料招待なので、O B 会としては赤字で

会の終盤、O B 全員と現役の代表がそれぞれ挨拶を行い、近況などを報告しました。その中で現役から、シャトルが足りないので100本(1200個)の援助をお願いします! 100本もらったら優勝します! との大胆発言。食いつぶりも大したものでしたが、言うこともへビー級。結局、無条件

関川村合宿に参加して

青山水友会 柳本 和貴 (94回)

86卒

去る8月4日、大先輩の皆様とともに、総勢10名で現役水泳部の関川村合宿に参加させていただきました。

恒例になっている現役部員とO B の交流戦。「まだまだ若いもんには負けん」というO B と毎日泳いでいる高校生では力の





まだ顔も合わせ  
たことのない三人  
の演奏者でちよつ

満額回答とはいきませんでした。  
が、まずはその半分を提供し、  
現役生のやる気を見極めたうえ  
で、最大100本を援助する、  
という出来高の決着となりました。  
吉報を待っています！

### 海外の同窓生だより

海外で活動される同窓生の方々も多くなり、いただ  
くお便りを掲載するコラムを設定しました。初回は  
フランスからのお便りです。初回の今号は3点掲載  
いたします。

### 古希の震災復興支援活動

三村 兼哉 (71回) **63卒**

平成25年5月1日に69歳にな  
りました。昔風に言えば、古希  
を迎えたこととなります。そん  
な69年の私の人生で、昨年は忘  
れられない年になりました。

それは昨年7月初めに「東北  
被災地復興支援のための演奏  
会」と銘打って、被災地の子供  
たちに元気になってもらおうと  
音楽会を企画したのです。宮古

と不安だったのですが、一日目  
の演奏会が始まった時点で、私  
の危惧が全く必要なかったと分  
りました。それからは気分も爽  
やかに、その後の演奏会も  
私も楽しんで聴くことができました。  
演奏会は成功と言っているのも  
のど自負しています。そして、  
子供たちに元気を与えようと  
思った我々が逆に子供たちから  
元気をもらったのは、嬉しい計  
算違いでした。

フランスに住んでから40年ほ  
どになりますが、2011年3  
月11日の朝(フランス時間)  
義理の妹から「日本で大地震が  
起きているからテレビを見て」  
と連絡があり、眠い目をこすり  
ながらNHK WORLDのスイッ  
チを入れて目を疑いました。  
ちょうど津波の第一波が東北  
の海岸に襲いかかろうとしてい  
る光景だったのです。その映像  
に釘付けになり、信じられない  
映像を目で追い、興奮したアナ  
ウンサーの声をただ呆然と聞い  
ていました。

その日から「これはただ事  
ではない。何かしなければ」とい  
う気持ちで胸が張り裂けるよう  
な状態でした。それからしばら  
くして、あちらこちらでチャリ  
ティーコンサートなどで義援金  
を集めていることを知り、私も  
何回か参加しました。

でも私は自分で直接被災地で  
援助をしたいという思いを強く  
抱いていました。そして弦楽器  
商をやっている関係で、やはり  
バイオリンを寄付しようという  
結論に達した訳ですが、では誰  
に寄付するのかということでは、  
いろいろ調べた結果、宮古市に  
ある梅村圭一さんが主宰してい  
る宮古ジュニア弦楽合奏団に迎  
り着き、そこに寄付しようと決  
めたのです。

### 「熱き想い」が届くように

今井 あい (105回) **97卒**



今井あいと申します。新潟高  
校卒業後、学習院大学法学部を  
卒業しまして、声楽を本格的に  
勉強するため、パリのスコーラ・  
カントルム音楽学校へ留学いた  
しました。パリを選んだのは、  
ドビュッシーなどのフランス音  
楽や、フランス語の持つ響きが  
とても好きだったことが理由で  
す。2年在学しまして、ディブ  
ロマ・スペリエルを1位で取得  
し、ニューヨークに拠点を移し  
ました。4年間研鑽を積み、最  
後の2年はマンハッタン音楽院  
に在籍し、修士号を取得しまし  
た。その間、コンクールに出場  
し、優勝や入賞を重ね、ベル  
お越しいただけますよう、どう  
ぞよろしくお願いたします。

新潟高校を卒業したのは  
1998年。その後東京芸術大  
学で音楽学を専攻し、18世紀の  
フランス音楽理論研究のために

### 海外で故郷を思う

関本 菜穂子 (106回) **98卒**

新潟高校を卒業したのは  
1998年。その後東京芸術大  
学で音楽学を専攻し、18世紀の  
フランス音楽理論研究のために

私政府給費奨学生としてパリ・ソルボンヌ大学博士課程に留学して以来、パリ生活は早9年になります。その間、バロック時代の重要な音楽書であるダランベールの『モーリーの原理に基づく音楽理論と実践の基礎』の共訳書（春秋社、2012年）を出版する機会を頂いたり、航空宇宙機器の見本市で新潟市や新潟の中小企業の通訳をさせて頂いたり、日本とも繋がりを持ってまいりました。

昨年は9月に第1子出産予定でしたので重たいお腹を抱えつつも、生誕300周年を迎える百科全書派のデイドロについての国際シンポジウムで研究発表をさせてもらったり、音楽関係の物書きの仕事をしたり、はたまた夏にはユネスコ世界遺産のロワール渓谷のとある村で宅地建設反対の住民運動を立ち上げたりと、我ながら苦笑してしま



うほどの「何でも屋業」を営みながら暮らしておりました。

平成13年6月に新潟フランス協会パリ支部および新潟日報欧州国際交流拠点の設立記念パーティがパリで行われました。その際に青山同窓会大先輩の小林亨さん（60回）にお会いし、これを機に新潟高校在生や卒業生の海外交流も盛り上げていきたいという抱負を伺いました。

私の高校時代はピアノや和声法の習得に夢中で、とても自慢できるような生徒ではありませんでした。あの頃に培った集中力は今でも代えがたい財産となっているように思います。休み時間や放課後に（時には授業をサボって）ふらふらと散歩した松林や海岸の情景なども懐かしく思い出します。海外でそんな故郷の思い出を語り合える場ができればどんなにすばらしいでしょう。その実現のために協力させていただけることがあれば幸いに存じます。これからも青山同窓会の皆様にお会いする時を楽しみにしております。

とうとう、東北楽天ゴールデンイーグルスが創設9年目で日本一になった。シーズン当初は、なんとかクライマックスシリーズに出て欲しいと思っていたが、まさかの日本一である。

11月3日の夜は、仙台、宮城、いや、東北全体が、歓喜に沸きかえった。

思い返せば、9年前のシーズンは、38勝97敗1分けて、首位と51.5ゲームの差をつけられた。勝因はいろいろある。

24勝0敗1セーブという前人未踏の成績を残した「神様」田中投手の存在、新人・則本投手や星野監督が育てた銀次選手等若手の活躍、ジョーンズ・マギー両外国人の活躍、嶋捕手の存在等々である。

しかし、何と言っても、「勝つことで東北の人々を勇気づけたい」という強い意志が一番である。

いい証拠に、今シーズンは逆転勝ちが多かった。

7月26日のロッテ戦で、1-2で負けていた9回裏に2点を

特別寄稿

見せた！東北の底力

中村 功 (72回) 64卒

とつて逆転勝ちしたのでいい例である。（この試合は田中が完投し、結果として、24連勝という大記録につながった節目の試合）

東日本大震災という未曾有の災害に見舞われた東北、いまだに仮設住宅等で生活している被災者は20万人（原発関連含む）もいる。

ざるを得ない。今回の優勝ほど、「強い希望」と「たち向かう意志」の大切さを感じたことはない。

（田中投手が抜けると言われている）来シーズンは、そんなに多くは期待していない。しかし、一度築かれた楽天イーグルスと地域の絆は、そう簡単には壊れないと思っている。

夢は実現するためにある、強い意志と希望をもち続けて欲しい。

本当にいい思いをさせてもらった。

11月24日は、仙台で優勝パレードが予定されており、最高の盛り上がりとなるだろう。

次なる夢は、母校の甲子園出場である。

勇気の先にあるものは

小沼 進一 (83回) 75卒

楽天の選手は、被災者を訪問し勇気づけ、本拠地での最初の試合で、嶋捕手は「東北の底力を見せましよう」と挨拶した。

これ以来、楽天の選手と地域は一体となった。

一昨年、昨年と結果は出なかったが、東北のファンは温かい声援を送り続け、今年7月に首位に立った頃から、夢が現実になりそうである。Kスタは連日満員だった。

日本一になった11月3日は、くしくも、大震災のあった3月11日とひっくり返しの月日である。

ここにも、東北に愛される楽天イーグルスの存在意義を感じ

新潟高校ラグビー部では、代々、スクラムハーフに名プレーヤーが多い。木下康司もその一人だ。パスワーク、ステツプ、状況判断等どれをとっても申し分なかった。しかし、彼がもつとも秀でていたのは「勇気」だった。当時のライバル新潟工業高校は、国体3位、花園3位になった新潟工業史上最高戦績のチーム。後にフォワードは全国一と言われた。そして総合体育大会決勝戦、新潟工業はそのフォワードでスクラムサイドを突破しようとしてきた。勝つためには徹底的だった。彼はその巨漢フォワードに対して膝めがけて、いや足首めがけて勇気のタックルを続けた。そのタックル（＝勇気）は劣勢なチームの

唯一の攻撃のようであった。それは、チームの士気をも高めた。だが、新人戦に続いての勝利はならず、対戦成績を一勝一敗で終えた。

東京大学法学部入学、ラグビー部入部。伝統のスイカジャージー（黒と緑の段縞）に袖を通す。残念ながら肩を痛めて一年で退部。

そして、大蔵省（現財務省）に入省後もその勇気を持ち続ける。彼自身の筆による自らの課長補佐時代を振り返った文章をネットで見ることが出来る。毎日フォワード「課長補佐時代」そこにも彼の勇気があった。

勇気の蓄積の先にあつたものは人気があった。彼は毎年、旧交を温めに新潟を訪れる。大量の

笑いと少しの感傷は勇気の充電に必要だ。だから友人とラグビーではなくゴルフをし、夜はさらに人数を増やして語り合う。相変わらず彼だけは、小学校の時からニックネームで呼ばれる人だ。ついに、平成25年6月、彼は財務事務次官に就任した。彼の人気は人の気を集める人だ。その人気で、さらにその先に向かう彼に声援を送りたい。

### 第36回青山ゴルフ会 (報告)

廣瀬 雄一 (107回) 99卒

第36回青山ゴルフ会は10月27日(日)紫雲ゴルフ倶楽部で開催されました。前日に台風27号が通過し好天候が期待されましたが、時折雨の混じる強風の中、43選手が激戦を繰り広げました。

同期出場者上位3人のネットスコアで争う団体戦は、72回(北村誠作、菅又滋、渡辺国夫、井海明)が優勝されました。団体戦の出場チームは、61回、69回、72回、79回、84回の5チームでした。どうやら団体戦の賞金は手厚い模様で、優勝されたチームは、その賞金で2次会に繰り出せるようです。私も107回の同期諸兄と共にこの団体戦に挑み、いつの日か勝利の美酒を味わうことを夢見て参加を続けて行きたいと思っております。(次回の開催は本年5月25日(日)に予定されています。)

個人部の成績は、優勝 廣瀬雄一(107回)、準優勝 武田浩昭(88回)、3位福島英樹(84回)、4位中村峻(11回)、5位北村誠作(72回)でした。青山ゴルフ会のご案内を希望の方は、青山ゴルフ会事務局 脇坂一郎(89回)、本間正隆(91回)へご連絡をお願いいたします。電話025-2229-8200/Fax025-2225-17164(株本間組内)



上村会長と団体賞優勝の72回の皆さん

### 追悼文

#### 追悼 大橋禎助先生

長谷川 義明 (61回) 53卒



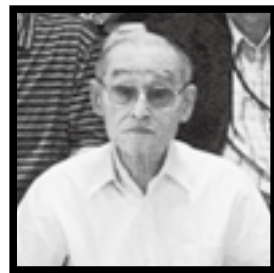
元新潟高校教師大橋禎助先生は去る11月3日享年91歳で逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げます。

大橋先生は昭和24年4月から昭和55年3月まで実に31年間という長きにわたり新潟高校の数学の教師としてお勤めになられ、実に多くの同窓生がお世話になりました。当時は国公立大学の理数系に進学するには特に数学は重要な鍵となる科目でありましたが、先生は大変分りやすく教えてくださり、苦意識を払拭して受験できたように思います。

はじめての生徒であったわれわれ61回生とは年齢的にも10歳程度の差しかなかったこともあり、卒業後も友人感覚で交流を続けさせて頂きました。毎年の新潟での同期会や時には月例会

#### 恩師松澤先生を偲ぶ

今野 公和 (68回) 60卒



平成 23 年 9 月 11 日  
五泉市浄林寺にて

去る平成25年9月7日午後2時、あるものは東京から、あるものは仙台から車いすで、また県内各地から併せて、21人の初老の男たち(71か72才だから老人か?)が、五泉市浄林寺に集結した。

昭和34年度(青山68回生)3年G組の有志が、当時の担任で平成25年3月29日に享年86才で亡くなられた恩師松澤先生のご仏前で、ご冥福をお祈りするためであった。その日は、温厚な先生の面影を偲びつつ、ご息(ご任職)孝然様の重厚な読経に頭を垂れた。

浄林寺は、五百年に及ぶ浄土真宗大谷派の名刹で、松澤昭然先生は、昭和3年1月7日そこで産声を上げられ、新潟高校教師を退職後、二十二世の住職を務められたのである。東大理IIから医学部に進まれ、思うところあって、インド哲学を専攻され、昭和26年から56年まで新潟高校で世界史の教鞭を執られた。昭和35年3月卒業の3年G組は、男子生徒ばかりのため、潤いにかけるところあり、松澤先生の手をわずらわせるところ多かつたと思うが、団結力は堅く、温厚で真面目な先生を心から慕い申し上げる者が多かつた。平成23年にも、有志一同18人が、五泉市浄林寺に、当時お元気だった松澤先生を訪れ、しばしの歓談の時を過ごした。そのときの松澤先生は、本当にうれしそうにしておられた。

お寺様からいただいた香典返しの手ぬぐいのお歌は、  
「井の中の蛙に似たり  
老いの身は  
南無阿弥陀仏と  
啼くばかりなり」  
じょうりんじ しょう昭  
松澤先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

や東京での同期会にもご参加いただいで居りました。先生にも気安く参加できるというお気持ちがおありだったようです。振り返って見れば60年を越す長いお付き合いとなっていました。

ご自宅に何台もの碁盤を用意されて、いつでも打ちに来て下さいと歓迎して頂きました。強豪であられた先生に勝てるようになりたいと通った友人もいましたし、奥様にも大変御世話になりました。昨年の4月には先生の卒寿とわれわれの傘寿を祝う会合を行形亭で開催いたしました。先生は、先生の卒寿にしてなお元氣なご様子に、みんなが先生のように元氣で過ごしたいものだと人生の目標などと話合っていました。

人生の先達としてご指導いただいた先生に深く感謝申しあげますと共に、安らかなご冥福を心から祈念申しあげます。

## 平成 25 年度 部活動大会結果報告

### 陸上競技

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

800 m 1 位 広田有紀 2 分 05 秒 65 (新潟県高校記録/県記録/北信越高校記録)

新潟県陸上競技選手権大会

男子 400 m H 3 位 本間健太郎

女子 800 m 1 位 広田有紀

国民体育大会陸上競技新潟県予選

少年男子 B 110 m J H 1 位 安立悠紀 (国体出場)

少年男子 B 走幅跳 1 位 稲川尚汰 (国体出場)

北信越高等学校新人陸上競技大会

男子 5000 m 5 位 岸本克佳

110 m H 6 位 安立悠紀

走幅跳 3 位 稲川尚汰

円盤投 8 位 大橋 悟

女子 1500 m 4 位 榎 千遥

3000 m 1 位 榎 千遥

### 柔道

BSN 高等学校柔道選手権大会

男子個人戦 81kg 3 位 加藤稜大

男子個人戦 73kg 5 位 真藤俊平

女子テニス 第 36 回全国選抜新潟県大会 女子団体 3 位

フェンシング 第 59 回全国高等学校フェンシング選手権大会

女子個人フルーレ 第 4 位 古俣潮里

女子個人エペ 優勝 古俣潮里

平成 25 年度新潟県高等学校秋季体育大会フェンシング競技大会

男子学校対抗戦 2 位

女子学校対抗戦 優勝 (北信越新人大会出場)

男子個人サーブル 3 位 高島 望

女子個人フルーレ 優勝 大内 唯 2 位 大澤ひかる 3 位 小林千紗

女子個人エペ 優勝 松木美生 2 位 坂井 鮎

女子個人サーブル 2 位 平賀有紗

### ボート

平成 25 年度新潟県高等学校秋季ボート競技大会

男子ダブルスカル 2 位 新潟高等学校高校 A (野村大樹・本間智洋) (中部選抜大会出場)

女子ダブルスカル 2 位 新潟高等学校高校 (狩谷幸子・坂井桃花) (中部選抜大会出場)

男子舵手付クォドルプル 2 位 新潟高等学校 A (高橋 哲・石田琳太郎・遠山文也・竹田卓真・生越瑞輝)  
(中部選抜大会出場)

### 空手道

第 47 回新潟県空手道選手権大会

兼 第 41 回全日本空手道選手権大会新潟県予選会 少年女子形 3 位 山賀みのり

第 33 回全国高等学校空手道選抜大会新潟県予選会 男子個人組手 1 位 篠原寛弥

(全国選抜大会および北信越大会出場)

第 27 回北信越高等学校空手道新人大会

兼 平成 25 年度全国高等学校空手道選抜大会北信越地区予選会 男子個人組手 3 位 篠原寛弥

(全国選抜大会出場)

### 放送

第 33 回 Q K 杯校内放送コンクール

朗読部門 3 位 藻谷美月

テレビ番組部門 3 位 熱き鋼の伝承者 (あつきはがねのでんしょうしゃ)

ラジオ番組部門 3 位 come! (こめかむ)

### 写真

第 37 回全国高等学校総合文化祭写真部門 最優秀賞・文化庁長官賞 大嶋和海

第 27 回新潟県高等学校総合文化祭写真専門部展 優秀賞 稲田有花 (第 38 回全国高等学校総合文化祭出場)

### 吹奏楽

第 37 回新潟県アンサンブルコンテスト高等学校の部 金管 8 重奏 金賞

### 囲碁

第 37 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会 女子団体 7 位

(葦山叶実、曾川マリー、山田果歩、大野李奈)

第 37 回全国高等学校総合文化祭長崎大会 男子個人 8 位 小林賢登

秋季囲碁大会

個人戦 A ブロック 1 位 小林賢登 2 位 三輪龍大 4 位 曾川マリー 5 位 松村朋直

B ブロック 3 位 山田果歩 5 位 大野李奈 以上 6 名 (北信越大会出場)

### 書道

全国高校総合文化祭長崎大会参加 関 春菜

### 将棋

新潟県高等学校文化連盟将棋新人大会 男子個人戦 2 位 橋本 颯



母校は今

部活動を通じて

写真部 3年 大嶋 和海

あけましておめでとうござい... 昨年、長崎しおかせ総文祭への参加など写真部として大変貴重な経験をたくさんさせていただきました。私は、中学校までは競泳をしており、まさか自分が写真部に入るとは想像もしていませんでした。そんな私を写真部に誘ったのは友人でした。「男子一人じゃ心細いから一緒に入らないか？」そして私は友人に言われるがまま写真部へ入部。それから2年が経ち、3年生最後の夏に、私が出品した写真が長崎しおかせ総文祭で最優秀賞に選ばれました。昨年の秋には、その縁で第27回県高校総合文化祭開会式での生徒代表あいさつを務めさせていただきました。今思えばあのときの友人の誘いがなければ、私は全く違う高校生活を送っていたのだと思います。卒業が近づくにつれ、写真部に入って良かったという思いが強く、なにかを感じます。お世話になった顧問の先生方、同じ写真部の仲間、感謝しています。ありがとうございました。



「ふたつの世界」 大嶋和海さん受賞作品

3年目のインターハイ

陸上競技部 3年 広田 有紀

今シーズンは、怪我との戦いで始まりました。少し回復してはまた悪化という繰り返し。思うような練習も出来ず、もどかしい日々が続きました。そんな中、顧問の和田先生から前を向く意欲、回復後の設定を見据えた練習を考えてもらい、根気よくご指導いただきました。そうして、迎えたインターハイ。「周りのひとの喜ぶ顔が見たい」ただ、そういう気持ちがある。怪我が治らない時期、自暴自棄になりそうな気持ちをなんとか支えてくれた仲間、家族に本当に感謝しております。このように貴重な経験をばねに、これからも夢を追い続けたいと思います。



左上より フェンシング部顧問・佐藤真先生 草間俊之学校長 陸上部顧問・和田紀明先生 左下より フェンシング部・古俣潮里さん 陸上競技部・広田有紀さん

インターハイを終えて

フェンシング部 3年 古俣 潮里

1年目、2年目ともに悔しい結果に終わっていたため、3年目にして最後のインターハイで優勝という実績を残せたことは安心するとともに今後によく大きな自信になったと思っております。決勝が前回敗れた相手との対戦だったこともあり緊張しましたが、熱くなりすぎずに冷静さを保った試合ができたことに今後への手応えを感じました。

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙そしてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願ひします。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合がありますのでよろしくお願ひします。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただきます。ご了承ください。

表紙題字：小川 和恵(101回) イラスト：池主 憲夫(68回)

104回H8年 長谷川 創  
大谷 茂 原 太一  
川端 周 植 口 真 佑子  
鈴木 貴 真 壁 枝 里  
濱 勇 元 井 太 朗  
105回H9年 渡 邊 綾 子  
磯野 寿 育 114回H18年  
遠藤 尚 史 楠 慧 子  
小松 絵 理 子 佐 野 満 実 子  
小田 中 健 一 115回H19年  
寺尾 仁 枝 並 直 樹  
成澤 良 小 山 貴 之  
渡邊 千 絵 郷 慎 久 朗  
106回H10年 高 橋 菜 那  
齋藤 健 太 郎 戸 田 史 織  
107回H11年 長 谷 川 史 史  
阿 部 剛 林 康 貴  
関 裕 子 116回H20年  
真 柄 望 久 須 美 智 子  
山 柄 洋 平 長 谷 川 絵 理  
真 田 大 史 服 部 宏 紀  
108回H12年 元 井 快  
井 上 勉 若 林 拓 哉  
山 田 清 達 117回H21年  
109回H13年 大 塚 拓  
遠藤 公 太 吉 瀬 璃 子  
坂 上 悠 太 坂 上 真 帆 子  
高 口 均 宮 前 巧  
藤 田 智 之 118回H22年  
山 際 章 会 田 俊 貴  
110回H14年 大 嶋 拓 実  
石 崎 徹 笹 川 健 太  
清 野 豊 白 井 雄 介  
富 田 基 史 高 野 真 行  
由 比 克 憲 千 代 透  
111回H15年 花 岡 拓 磨  
齋藤 真 理 119回H23年  
種 純 純 郎 河 村 醇  
堀 あ い 木 村 亮 太  
三 浦 千 晶 久 保 田 彩 織  
村 川 陽 太 郎 小 島 知 之  
横 井 大 樹 佐 久 間 菜 月  
112回H16年 島 垣 朔 步  
佐 藤 朋 弥 高 須 保 紘 太  
戸 谷 田 貴 志 宮 島 謙 太  
野 々 村 頼 子 山 口 彩  
吉 田 丈 夫 渡 邊 緑  
113回H17年 120回H24年  
大 塚 智 大 沼 萌 子  
川 村 望 坂 詰 博 仁  
佐 藤 あ ず さ 高 橋 杏 奈  
清 野 智 田 中 文 彬  
関 本 智 美 田 原 正 崇  
土 田 純 子 手 塚 朱 映

10回S43年 阿 部 恭 平  
今 井 博 明 子  
吉 桑 政 子  
木 下 健 次  
佐 藤 イ チ 子  
21回S54年 阿 部 洋 一  
清 野 義 昭  
22回S55年 小 島 瑞 美 子  
佐 藤 浩 之  
マ ツ イ  
田 村 和 男  
戸 嶋 孝  
外 山 ト ミ エ  
小 林 サ チ 子  
藤 田 六 六  
藤 田 キ ミ エ  
松 原 俊 昭  
丸 山 秋 一  
丸 川 幸 子  
山 本 ヤ オ イ  
23回S56年 青 木 和 枝  
中 澤 佑 介  
平 倉 春 樹  
渡 邊 公 則  
渡 邊 優 香  
121回H25年 齋 藤 愛 も  
佐 藤 も も  
田 中 博  
鶴 卷 瑛  
中 村 美 貴  
長 谷 川 巧  
伴 田 基 拓  
山 縣 香 奈  
山 田 恭 巳  
余 湖 未 笛  
通信制  
1回S34年 上 重 正 一  
2回S35年 桜 井 修  
3回S36年 川 端 欽 吾  
4回S37年 大 谷 孝 二  
加 藤 守 一  
近 藤 一 弥  
5回S38年 高 橋 一 夫  
6回S39年 井 村 助 治  
高 橋 富 榮  
本 保 銀 一  
山 川 春 雄  
養 田 太 一 郎  
7回S40年 天 野 昭 治  
内 山 紀 子  
片 原 裕 子  
8回S41年 小 林 勝 代  
高 橋 榮 治  
間 島 キ ヲ 子  
松 縄 清  
9回S42年 木 村 美 枝  
橘 榮 子  
田 村 清 三 郎  
田 村 三 男  
角 田 清 宣  
寺 尾 ヒ デ 子  
松 澤 美 知 子  
猪 口 鈴 枝

喜多村 勇 夫  
小 島 英 二 博  
清 野 喜 美 男  
宮 尾 正 一  
21回S54年 阿 部 洋 一  
清 野 義 昭  
22回S55年 小 島 瑞 美 子  
佐 藤 浩 之  
マ ツ イ  
田 村 和 男  
戸 嶋 孝  
外 山 ト ミ エ  
小 林 サ チ 子  
藤 田 六 六  
藤 田 キ ミ エ  
松 原 俊 昭  
丸 山 秋 一  
丸 川 幸 子  
山 本 ヤ オ イ  
23回S56年 青 木 和 枝  
五十嵐 タ ツ ミ  
太 田 光 雄  
片 桐 登  
中 野 藤 美  
24回S57年 今 井 榮 作  
須 貝 幹 雄  
26回S59年 近 藤 英 子  
清 田 輝 雄  
南 雲 ト ミ イ  
山 崎 喜 男  
27回S60年 阿 部 幸 一  
安 倍 武 雄  
岡 田 忠 雄  
熊 田 照 子  
栗 原 隆  
永 野 正 人  
28回S61年 渡 辺 ハ マ  
渡 辺 久 子  
29回S62年 竹 内 正 朋

陽 田 ナ ツ 子  
30回S63年 小 川 春 世  
長 濱 隆 道  
本 多 孝 一  
増 田 朋 子  
丸 山 弘  
31回H1年 石 井 幸 代  
金 子 よ う  
関 テ ル 子  
滝 澤 公 晴  
田 中 麻 紀 子  
田 卷 ナ ホ 子  
32回H2年 菊 地 光 子  
武 正 志  
山 賀 利 夫  
33回H3年 蕪 木 フ ミ  
桑 原 恒 夫  
駒 沢 聡  
丸 田 賢 一  
渡 辺 作 司

40回H10年 曾 我 昭 仁  
永 原 正 朋  
星 恒 市  
41回H11年 本 間 明 子  
42回H12年 畔 柳 圭  
大 滝 智  
岡 田 武 雄  
永 田 裕 子  
星 野 レ ン 子  
43回H13年 鶴 卷 新 太 郎  
44回H14年 石 原 マ サ 子  
近 雄 介  
45回H15年 大 杉 貴 美 枝  
46回H16年 大 崎 シ ス  
小 柳 ト ミ エ  
丹 後 沙 穂 子



| 全日制 | 卒業年         | 通信制 | 全日制 | 卒業年         | 通信制 | 全日制 | 卒業年         | 通信制 | 全日制  | 卒業年         | 通信制 |
|-----|-------------|-----|-----|-------------|-----|-----|-------------|-----|------|-------------|-----|
| 31回 | T 13年 1924年 |     | 54回 | S 21年 1946年 |     | 77回 | S 44年 1969年 | 11回 | 100回 | H 4年 1992年  | 34回 |
| 32回 | T 14年 1925年 |     | 55回 | S 22年 1947年 |     | 78回 | S 45年 1970年 | 12回 | 101回 | H 5年 1993年  | 35回 |
| 33回 | T 15年 1926年 |     | 56回 | S 23年 1948年 |     | 79回 | S 46年 1971年 | 13回 | 102回 | H 6年 1994年  | 36回 |
| 34回 | S 2年 1927年  |     | 57回 | S 24年 1949年 |     | 80回 | S 47年 1972年 | 14回 | 103回 | H 7年 1995年  | 37回 |
| 35回 | S 3年 1928年  |     | 58回 | S 25年 1950年 |     | 81回 | S 48年 1973年 | 15回 | 104回 | H 8年 1996年  | 38回 |
| 36回 | S 4年 1929年  |     | 59回 | S 26年 1951年 |     | 82回 | S 49年 1974年 | 16回 | 105回 | H 9年 1997年  | 39回 |
| 37回 | S 5年 1930年  |     | 60回 | S 27年 1952年 |     | 83回 | S 50年 1975年 | 17回 | 106回 | H 10年 1998年 | 40回 |
| 38回 | S 6年 1931年  |     | 61回 | S 28年 1953年 |     | 84回 | S 51年 1976年 | 18回 | 107回 | H 11年 1999年 | 41回 |
| 39回 | S 7年 1932年  |     | 62回 | S 29年 1954年 |     | 85回 | S 52年 1977年 | 19回 | 108回 | H 12年 2000年 | 42回 |
| 40回 | S 8年 1933年  |     | 63回 | S 30年 1955年 |     | 86回 | S 53年 1978年 | 20回 | 109回 | H 13年 2001年 | 43回 |
| 41回 | S 9年 1934年  |     | 64回 | S 31年 1956年 |     | 87回 | S 54年 1979年 | 21回 | 110回 | H 14年 2002年 | 44回 |
| 42回 | S 10年 1935年 |     | 65回 | S 32年 1957年 |     | 88回 | S 55年 1980年 | 22回 | 111回 | H 15年 2003年 | 45回 |
| 43回 | S 11年 1936年 |     | 66回 | S 33年 1958年 |     | 89回 | S 56年 1981年 | 23回 | 112回 | H 16年 2004年 | 46回 |
| 44回 | S 12年 1937年 |     | 67回 | S 34年 1959年 | 1回  | 90回 | S 57年 1982年 | 24回 | 113回 | H 17年 2005年 | 47回 |
| 45回 | S 13年 1938年 |     | 68回 | S 35年 1960年 | 2回  | 91回 | S 58年 1983年 | 25回 | 114回 | H 18年 2006年 | 48回 |
| 46回 | S 14年 1939年 |     | 69回 | S 36年 1961年 | 3回  | 92回 | S 59年 1984年 | 26回 | 115回 | H 19年 2007年 |     |
| 47回 | S 15年 1940年 |     | 70回 | S 37年 1962年 | 4回  | 93回 | S 60年 1985年 | 27回 | 116回 | H 20年 2008年 |     |
| 48回 | S 16年 1941年 |     | 71回 | S 38年 1963年 | 5回  | 94回 | S 61年 1986年 | 28回 | 117回 | H 21年 2009年 |     |
| 49回 | S 17年 1942年 |     | 72回 | S 39年 1964年 | 6回  | 95回 | S 62年 1987年 | 29回 | 118回 | H 22年 2010年 |     |
| 50回 | S 18年 1943年 |     | 73回 | S 40年 1965年 | 7回  | 96回 | S 63年 1988年 | 30回 | 119回 | H 23年 2011年 |     |
| 51回 | S 19年 1944年 |     | 74回 | S 41年 1966年 | 8回  | 97回 | H 1年 1989年  | 31回 | 120回 | H 24年 2012年 |     |
| 52回 | S 20年 1945年 |     | 75回 | S 42年 1967年 | 9回  | 98回 | H 2年 1990年  | 32回 | 121回 | H 25年 2013年 |     |
| 53回 | S 20年 1945年 |     | 76回 | S 43年 1968年 | 10回 | 99回 | H 3年 1991年  | 33回 |      |             |     |

卒業年一覽表



|      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 佐佐佐三 | 藤藤藤 | 晃夫  | 一子  | 小川  | 林山  | 亮康  | 介見  | 平田  | 柴子  | 米持  | 洋健  | 介一  | 荒川  | 川木  | 朋泰  | 明次  | 廣藤  | 瀬田  | 通都  | 子代  | 山岸  | 要政  | 殺一  | 樋本  | 口間  | 正信  | 史洋  | 小川  | 林山  | 茂直  | 子久  |
| 佐佐三  | 藤藤藤 | 晃夫  | 一子  | 小川  | 林山  | 亮康  | 介見  | 平田  | 柴子  | 米持  | 洋健  | 介一  | 荒川  | 川木  | 朋泰  | 明次  | 廣藤  | 瀬田  | 通都  | 子代  | 山岸  | 要政  | 殺一  | 樋本  | 口間  | 正信  | 史洋  | 小川  | 林山  | 茂直  | 子久  |
| 三三三  | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 |





平成 25 年度 青山同窓会会費納入者

(H 25. 4. 1 ~ H 26. 3. 31)

4 月より 9 月末まで納入いただいた方を掲載しております。10 月以降に納入された方は次号に掲載いたします。会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非 3 月までにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年度会費納入のお願いと振込用紙は、平成 26 年度総会のご案内と一緒にご郵送いたします。

1 口 1,000 円。できるだけ 2 口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座 全日制 00650-7-4455 青山同窓会
通信制 00530-1-74207 青山通教部会

Table listing members and their contributions, organized by payment type (全日制, 通信制) and year (e.g., 31回T13年, 49回S17年). Includes names like 松井道夫, 飯島三良, 野瀬弘一, etc.